

# 令和3(2021)年度 事業報告書

I	法人の概要	… P.1
II	事業の概要	… P.8
III	財務の概要	… P.34

令和4(2022)年5月  
学校法人 浪商学園

## I 法人の概要

### 1. 建学の精神

不断の努力により智・徳・体を修め社会に奉仕する

### 2. 学園の使命(ミッション)

建学の精神に基づき、学業・スポーツ・研究を通して心身ともに健全な人材を育成し、幸福で平和な社会の実現に寄与する。

### 3. 学園の将来構想 (ビジョン)

学園の使命(ミッション)のもと、設置校それぞれの特色を活かし、時代の最先端を行く社会に認められる教育機関となる。そのために、各設置校が幼児教育から高等教育まで相互に連携を図りながら、魅力ある教育等の提供により各界・各分野をリードする人材の育成をめざす。

### 4. 学校法人の沿革

1921年(大正10年)	大阪市天王寺区に浪華商業実修学校(現浪商学園)創立
1923年(大正12年)	大阪市南区に浪華商業学校として移転
1926年(大正15年)	大阪市東淀川区に新校舎を建設し移転
1947年(昭和22年)	浪商中学校 設立
1948年(昭和23年)	浪華商業高等学校 設立。商業科を設置
1949年(昭和24年)	浪商附属幼稚園 設立
1959年(昭和34年)	浪華商業高等学校を浪商高等学校と改称。普通科を設置
1963年(昭和38年)	大阪市東淀川区から茨木市に移転
1965年(昭和40年)	大阪体育大学体育学部 設立
1966年(昭和41年)	浪商高等学校に体育科を設置
1969年(昭和44年)	浪商中学校を大阪体育大学附属中学校と改称し創立(設立)
1970年(昭和45年)	大阪体育大学体育専攻科 開設(平成4年 大学院体育学研究科に改組)
1981年(昭和56年)	大阪体育大学産業体育研究所 設立(現 社会貢献センター)
1983年(昭和58年)	浪商高等学校 高槻学舎 開設。普通科(特進コース、普通コース)を設置
1985年(昭和60年)	浪商高等学校 高槻学舎を大阪青凌高等学校と改称 大阪青凌中学校 設立
1987年(昭和62年)	浪商高等学校・大阪体育大学附属中学校 大阪府泉南郡熊取町に移転 浪商高等学校を普通科に統一
1989年(平成元年)	大阪体育大学 大阪府泉南郡熊取町に移転 大阪体育大学附属福祉専門学校 設立

	浪商高等学校を大阪体育大学浪商高等学校に改称
	浪商附属幼稚園を大阪体育大学浪商幼稚園と改称
1992年(平成4年)	大阪体育大学大学院修士課程(体育学研究科)開設(平成13年 博士前期課程に改称)
1995年(平成7年)	大阪青凌高等学校(特進コース、普通コース)を再編し、特進コース、進学文系コース、進 学理系コースを設置
1997年(平成9年)	大阪体育大学体育学部生涯スポーツ学科 開設
2000年(平成12年)	大阪体育大学短期大学部 開学(大阪体育大学附属福祉専門学校閉学) 大阪青凌高等学校に国際コース(男女共学)を設置
2001年(平成13年)	大阪体育大学大学院博士後期課程(スポーツ科学研究科) 開設 大学院体育学研究科をスポーツ科学研究科に改称(スポーツ科学研究科) 開設 大阪体育大学浪商高等学校にコース制を導入(特進コース、体育コース、標準コース) 大阪体育大学附属中学校にコース制を導入(特進コース、標準コース) 大阪青凌高等学校特進コース男女共学化 大阪青凌中学校男女共学化
2003年(平成15年)	大阪体育大学健康福祉学部 開設 大阪青凌高等学校全コース男女共学化 大阪青凌中学校6年コース設置
2005年(平成17年)	大阪青凌高等学校(特進コース、進学文系コース、進学理系コース、国際コース)を再編し、 特進コース、進学コースを設置
2006年(平成18年)	大阪体育大学体育学部体育学科、生涯スポーツ学科募集停止 スポーツ教育学科、健康・スポーツマネジメント学科を新設
2007年(平成19年)	大阪青凌高等学校に特進Sコースを設置
2009年(平成21年)	大阪体育大学浪商高等学校(特進コース・標準コース・体育コース)を再編し、進学特別コ ース、進学総合コース、アスリートコースを設置 大阪青凌中学校にジュニアS(特進)コース・ジュニアA(標準)コースを設置
2011年(平成23年)	大阪体育大学短期大学部 閉学 大阪体育大学浪商高等学校(進学特別コース、進学総合コース、アスリートコース)を再編 し、Ⅰ類(国公立コース)、Ⅱ類(有名私立コース)、進学総合コース、進学スポーツコース、 アスリートコースを設置
2013年(平成25年)	大阪体育大学浪商幼稚園にイマージョンクラスを設置
2014年(平成26年)	大阪体育大学附属中学校を大阪体育大学浪商中学校と改称、(特進コース)を再編し、Ⅰ・ Ⅱ類コースを設置
2015年(平成27年)	大阪体育大学教育学部教育学科 開設
2018年(平成30年)	大阪体育大学健康福祉学部健康福祉学科 閉学
2020年(令和2年)	大阪青凌中学校・高等学校 大阪府三島郡島本町へ移転 大阪体育大学浪商中学校(特進コース、標準コース)を再編し、グローバル進学コース、ス ポーツ進学コースを設置
2021年(令和3年)	大阪体育大学浪商高等学校(Ⅰ・Ⅱ類コース、進学総合コース、進学スポーツコース、アス リートコース)を改編し、進学・未来型探究領域に進学アドバンスコース、進学グローバル コース、探究キャリアコースの3コースを、スポーツ科学領域に進学スポーツコース、探 究スポーツコースの2コースを設置

## 5. 設置学校一覧

令和3(2021)年度末日現在

設置学校名	学(校・園)長名	学校所在地
大阪体育大学・大学院	原田 宗彦	大阪府泉南郡熊取町朝代台 1-1
大阪体育大学浪商中学校・高等学校	工藤 哲士	大阪府泉南郡熊取町朝代台 1-1
大阪青凌中学校・高等学校	福力 稔	大阪府三島郡島本町若山台 1-1-1
大阪体育大学浪商幼稚園	福力 稔	大阪府茨木市学園町 1-1

## 6. 学校・学部・学科等の学生数の状況

令和3(2021)年度末日現在 (単位:人)

学校名	創立年月	学部・学科	募集人員	入学者数	収容定員数	現員数
大阪体育大学	昭和40年4月	大学院スポーツ科学研究科				
		博士前期(修士)課程(2年)	24	21	48	46
		博士後期(博士)課程(3年)	6	2	18	20
		体育学部	520	540	2,080	2,217
		スポーツ教育学科	(320)	(331)	(1,280)	(1,342)
		健康・スポーツマネジメント学科	(200)	(209)	(800)	(875)
		教育学部	125	142	500	577
		教育学科	(125)	(142)	(500)	(577)
大阪体育大学浪商高等学校	大正10年11月	全日制課程 普通科	260	251	945	694
大阪青凌高等学校	昭和58年4月	全日制課程 普通科	280	306	960	1,011
大阪体育大学浪商中学校	昭和22年4月		60	36	240	92
大阪青凌中学校	昭和60年4月		30	30	240	78
大阪体育大学浪商幼稚園	昭和24年11月	(3、4、5歳児)	120	119	360	361
			1,425	1,447	5,391	5,096

## 7. 教職員の概要

令和3(2021)年度末日現在 (単位:人)

区分	法人事務局	大阪体育大学	大阪体育大学浪商高等学校	大阪青凌高等学校	大阪体育大学浪商中学校	大阪青凌中学校	大阪体育大学浪商幼稚園	計	
教員	本務	0	98	48	56	11	9	23	245
	兼務	0	102	14	26	3	2	13	160
職員	本務	23	106	14	9	0	0	1	153
	兼務	2	8	7	2	0	0	8	27

## 8. 役員の概要

理事 10 名 (定員数 5~13 名)

令和3(2021)年度末日現在

寄附行為上の区分	人数	氏名	常勤区分	摘要
大阪体育大学の学長	1 人	原田 宗彦	常勤	令和 3 年 4 月 就任 /
評議員のうちから、評議員会において選任された者	2 人以上 5 人以内	長家 秀博	非常勤	平成 19 年 6 月 就任 / 令和元年 6 月 再任
		佐川 順一	非常勤	平成 20 年 12 月 就任 / 令和元年 6 月 再任
		細川 明雄	常勤	平成 30 年 4 月 就任 / 令和元年 6 月 再任
学識経験者のうちから、理事会において選任された者	2 人以上 7 人以内	野田 賢治	常勤	昭和 61 年 9 月 就任 / 令和元年 6 月 再任
		福田 江兵	非常勤	平成 12 年 5 月 就任 / 令和元年 6 月 再任
		西尾 一実	常勤	平成 19 年 6 月 就任 / 令和元年 6 月 再任
		豊田 兼典	非常勤	平成 23 年 4 月 就任 / 令和元年 6 月 再任
		小山田裕一	非常勤	平成 29 年 6 月 就任 / 令和元年 6 月 再任
		太田 誠一	非常勤	平成 29 年 7 月 就任 / 令和元年 6 月 再任

※非常勤理事は就任順

監事 2 名 (定員数 2~3 名)

令和3(2021)年度末日現在

区分	氏名	常勤区分	摘要
監事	水野 一郎	非常勤	平成 19 年 6 月 就任 / 令和元年 6 月 再任
監事	中野 徳雄	非常勤	平成 27 年 6 月 就任 / 令和元年 6 月 再任

※監事は就任順

## 9. 評議員の概要

評議員 21 名 (定員数 11~27 名)

令和3(2021)年度末日現在

寄附行為上の区分	人数	氏名	摘要
この法人の職員(学長、校長、園長、教員、その他職員を含む)のうちから、理事会において選任された者	2人以上 4人以内	福力 稔	平成24年4月 就任 / 令和元年6月 再任
		長崎 正巳	平成30年4月 就任 / 令和元年6月 再任
		工藤 哲士	令和3年4月 就任 /
法人の設置する学校を卒業した者で、年齢25年以上のものうちから、理事会において選任された者	3人以上 10人以内	古家 啓二	平成11年6月 就任 / 令和元年6月 再任
		長家 秀博	平成13年5月 就任 / 令和元年6月 再任
		佐川 順一	平成20年11月 就任 / 令和元年6月 再任
		淵本 隆文	平成27年4月 就任 / 令和元年6月 再任
		貴島 一義	平成30年4月 就任 / 令和元年6月 再任
		林 憲治郎	令和元年4月 就任 /
法人理事長	1人	野田 賢治	昭和61年9月 就任 / 令和元年6月 再任
理事のうちから、理事の互選により選任された者	3人以上 7人以内	西尾 一実	平成15年5月 就任 / 令和元年6月 再任
		福田 江兵	平成12年5月 就任 / 令和元年6月 再任
		豊田 兼典	平成24年4月 就任 / 令和元年6月 再任
		小山田裕一	平成29年6月 就任 / 令和元年6月 再任
		太田 誠一	平成29年7月 就任 / 令和元年6月 再任
		原田 宗彦	令和3年4月 就任 /
学識経験者のうちから、理事会において選任された者	2人以上 5人以内	植木 章三	平成31年4月 就任 /
		前島 悦子	平成29年4月 就任 / 令和元年6月 再任
		細川 明雄	平成30年4月 就任 / 令和元年6月 再任
		神崎 浩	令和3年4月 就任 /
		浜田 拓	令和3年4月 就任 /

※評議員は就任順

## 10. 責任限定契約、役員賠償責任保険契約の状況

### 1) 責任限定契約

私立学校法改正[令和2(2020)年4月1日施行]に伴い、令和2(2020)年4月1日より責任限定契約を締結しました。

対象役員

区分	氏名		
非業務執行理事	福田 江兵	長家 秀博	佐川 順一
	豊田 兼典	小山田裕一	太田 誠一
監事	水野 一郎	中野 徳雄	

#### (1) 契約内容の概要について

非業務執行理事および監事はその職務を行うに当たり善意でかつ重大な過失がないときは、金24万円と、役員報酬の1年分に2を乗じて得た額の、いずれか高い額を責任限度額とします。

#### (2) 契約によって職務執行の適正性が損なわれないようにするための措置について

契約の内容に、「役員がその職務を行うに当たり善意でかつ重大な過失がないときに限る」旨の定めがあります。

### 2) 役員賠償責任保険制度への加入

私立学校法改正[令和2(2020)年4月1日施行]に伴い、理事会決議により、令和2(2020)年5月1日から役員賠償責任保険に加入しました。

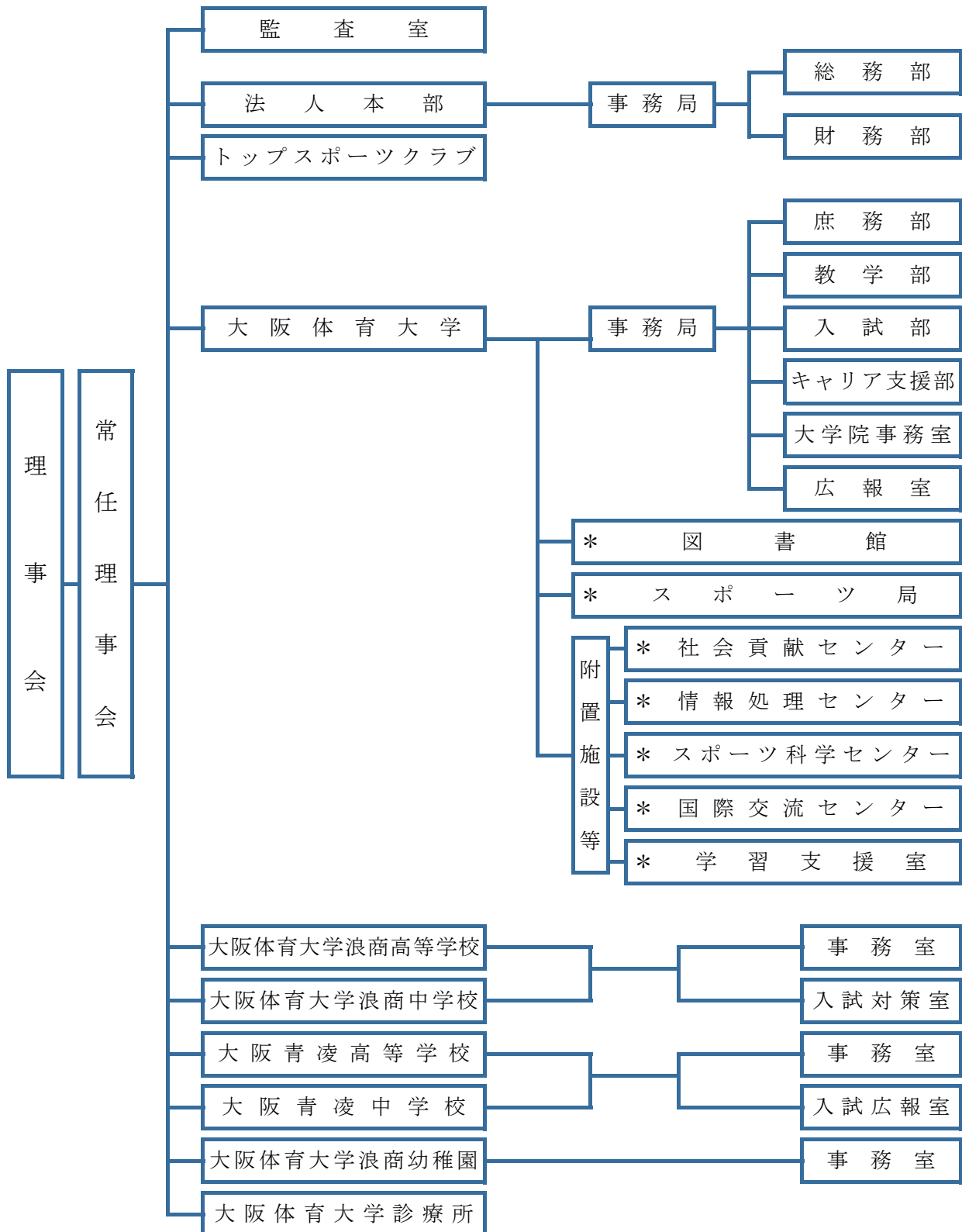
役員賠償責任保険制度内容

団体契約者	日本私立大学協会
被保険者	理事・監事・評議員
補償内容	○ 役員(個人被保険者)に関する補償 法律上の損害賠償金、争訟費用等  ○ 記名法人に関する補償 法人内調査費用、第三者委員会設置・活動費用等
支払い対象とならない主な場合 (職務執行の適正性が損なわれないようにするための措置)	法律違反に起因する対象事由等
保険期間中総支払限度額	1億円

## 1 1. 事務組織の概要

### 事 務 組 織

(令和3年5月1日現在)



(注) \*は大阪体育大学を冠する



## II 事業の概要



### 1. 大阪体育大学(体育学部・教育学部・大学院)

#### ◆目標

大阪体育大学は、「大体大ビジョン 2024」に掲げられた3つのビジョン、第5次中期計画(2019年度～2022年度)に掲げられた大体大力を高める「教育力」「研究力」「競技力」「社会貢献力」「就職力」「学生募集力」「広報・マーケティング力」、および「組織力・経営力」の8つの力と、別に重点施策(目標)を挙げ、それぞれに事業内容と具体的な取り組みを行いました。

#### 1) 教育力

体育・スポーツ、および学校教育に関する科学の理論と技術を教授研究し、豊かな教養と広い見識を備える実践的、創造的な人材を育成し、国民の健康とスポーツ文化、および学校教育の向上に寄与することを目的とし、目的を達成するため、教育の充実を図ります。

##### (1) スポーツ科学データと手法を用いた指導法の開発と展開

令和3(2021)年度入学生から全学生に対しPCを必携化とし、多くの授業でデータ解析や映像を用いた授業が展開されるようになりました。また、ダートフィッシュなどの映像分析ソフトを用いた授業も展開されました。

##### (2) 社会人や現職教員に対し、最新の知見を提供し、研究と実践の往還を図る教育プログラムの構築

大学院において、令和4(2022)年度から昼夜開講制を導入するための社会人受け入れ体制の充実を図りました。社会貢献センターは地域交流事業を含んだ仕組みを令和3(2021)年度に作り、次年度からスタートさせることとなりました。

##### (3) 社会の状況に見合った適切なカリキュラム運営

教育学部では、令和3(2021)年度から、入学時に決定していたコースを入学後の1年間の学びの上で2年次にコースが選択できるようになり、学生の希望に応じた適切な教育が展開できるようになりました。

#### (4) カリキュラム・マップの作成

内部質保証システムの構築にあたり、カリキュラム・マップを作成し、大学ホームページに公表しました。

#### (5) ICT を活用した遠隔授業の実施

コロナ禍で標準化されてきた ICT を活用した授業を、全面的に対面授業を行うこととなった令和4(2022)年度も、選択的に実施できることとなりました。授業担当教員が、①対面授業と同等以上の効果的な教育が可能と判断できること、②毎回の授業にあたり学生とのコミュニケーションや質問の機会が確保されていること、③オンライン上での出席管理や課題の提出確認などにより、当該授業の実施状況を十分把握できること、をそれぞれ判断した場合、申請により所定の審査を経て承認された授業が対象となります。

#### (6) 教育施設・設備の点検・改善

第1、2、4、5 体育館に空調設備が設置され、全ての体育館で空調設備が整い、今までより良い環境で授業および課外活動ができるようになりました。

陸上競技場のトラックのポリウレタン表層を新しくし、跳躍ピットや投擲サークルの改修も行われ、日本陸上競技連盟から第3種公認競技場としての更新が認められました。

車いすを利用する学生が教育学部棟間を行き来できるように、0号館からP号館の通路にあった段差部分にスロープを2箇所設置しました。

B、N号館のトイレを、ウォシュレット付きに切り替えると共に、洗面台の蛇口を自動センサー式に変更する改修工事を実施しました。

#### (7) 国際化の推進

令和3(2021)年4月1日付けで、大阪体育大学と海外の大学・教育研究機関との学術・文化の交流促進、本学の教育・研究活動の向上と発展に資することを目的とした国際交流センターが設置されました。これに伴い留学生業務に関する窓口の一本化が実現できました。新型コロナウイルス感染拡大の影響にて国際交流が困難でしたが、大学院留学生の受け入れ支援を行いました。

## 2) 研究力

体育学・スポーツ科学、教育学の分野において、独創的、創造的、国際的な研究に挑戦し、新たな知を構築します。

#### (1) 学内プラットフォーム(推進組織)の設置

研究推進委員会を新たに立ち上げ、規程を整備しました。今後は研究推進委員会にて業務を拡充・継続するための取り組みが必要となっています。



#### (2) 地方自治体、地域教育機関との提携・連携研究プロジェクトの推進

熊取町との協働協定に基づいた町立中学校運動部への指導者派遣、健康事業などの推進に継続して取り

組みました。また、尼崎市教育委員会との連携事業として講師派遣を行いました。そして、スポーツ庁委託事業の中で教育委員会や学校現場との連携事業についての検討を行い、具体的事業への取り組みが進みました。

### 3) 競技力

大体大ビジョン2024「拠点づくりビジョン」の中に、「世界で活躍するアスリートと指導者を育成・サポートする拠点」として、目標を掲げています。スポーツ局を中心に本学運動クラブ、学生アスリートの強化や、指導者支援、他教育機関や企業、スポーツ機関との連携、関西スポーツ界のリーダーとしての競技力向上と健全な発展など、これまでの競技力向上方策をさらにグレードアップしてきました。クラブ活動における競技力向上のため、施設を整えるとともに、多くのサポートを実施しています。

#### (1) 東京オリンピック・パラリンピック指定クラブ強化事業の検討

指定クラブの女子ハンドボールは、令和3(2021)年度、インカレ優勝、全日本ベスト4の成績を残しました。8月に開催された東京オリンピックでは、14名の選手のうち6名の卒業生が選出され活躍しました。2024パリ大会に向けて強化の継続も決定し、積極的にサポートしていきます。



#### (2) 世界で活躍が期待できるアスリートの獲得と育成

東京パラリンピック100メートル平泳ぎで、教育学部1年生の宇津木美都選手が6位入賞を果たし、令和4(2022)年度DASH選抜アスリート(国際)にも認定されました。

BMXのDASH選抜アスリート(国際)の選手達も実力を発揮し、国際大会で好成績を残しています。2024パリ大会での活躍を期待できることから、学内のサポート体制の充実も含めて、体制の強化を引き続き行っていきます。

#### (3) スポーツ科学センター機能の充実化

令和3(2021)年度から、スポーツ科学センターの組織の見直しおよび専門スタッフの充実化が進み、会議の定期的な実施など体制の整備もほぼ完成されました。スポーツ局スタッフとの連携強化も含めて各クラブや選手のニーズに沿った競技力向上支援環境やその体制強化を図るためにも、さらに関係部署等との連携強化や協働を図ることを進めていきます。

#### (4) 学生アスリートと指導者の教育プログラム検討と確立

令和3(2021)年度にアスリートハンドブック(編集発行:スポーツ局)の更新および内容充実を図り、改訂版作成にあたっての準備を行い、令和4(2022)年度4月から利用できるように整備しました。加えてその啓発機会として学生アスリートガイダンス、指導者セミナーを企画・開催も行いました。令和4(2022)年度へ向けて、指導者向けの運営管理マニュアル(会計関連も含めて)作成も着手しており、大学全体の運動クラブの運営統括を進めていきます。



## ◆ クラブ活動等の主な成績 ◆

クラブ名	大会名	成績等
ハンドボール部(女子)	令和3年度高松宮記念杯第57回全日本学生ハンドボール選手権大会	優勝
	第73回日本ハンドボール選手権大会(女子の部)	3位
ハンドボール部(男子)	令和3年度高松宮記念杯第64回全日本学生ハンドボール選手権大会	準優勝
陸上競技部(武本紗栄)	2021日本学生陸上競技個人選手権大会(女子やり投)	優勝
	令和3年度天皇賜盃第90回日本学生陸上競技対校選手権大会(女子やり投)	優勝
	第105回日本陸上競技選手権大会(女子やり投)	3位
陸上競技部(岩崎立来)	令和3年度天皇賜盃第90回日本学生陸上競技対校選手権大会(男子400m)	2位
水上競技部(宇津木美都)	東京2020パラリンピック競技大会 女子100m平泳ぎ(SB8)	6位
	東京2020パラリンピック競技大会 女子200m個人メドレー(SM9)	出場
硬式野球部(女子)	令和3年度第11回全国大学女子硬式野球選手権大会(秋季)	優勝
なぎなた部	令和3年度第60回全日本学生なぎなた選手権大会 団体の部	準優勝
なぎなた部(志藤すず穂)	令和3年度第60回全日本学生なぎなた選手権大会 個人の部	優勝
なぎなた部(井口晴奈)	令和3年度第60回全日本学生なぎなた選手権大会 演技の部	優勝
アダプテッドスポーツ部(内田峻介)	第23回日本ボッチャ選手権大会 BC4	優勝

## 4) 社会貢献力

社会貢献活動は、教育、研究とならぶ大学の重要な役割の一つです。ボランティア活動などの社会的活動に対して、学生が積極的に参加・活動できる環境および支援体制を整備しています。また、「社会貢献センターやスポーツ科学センターなどの附置施設の活動を活発化し、大学の人的・物的資源を積極的に活用して、地域社会と連携協力しながら、地域のスポーツや福祉の振興、青少年の健全育成、健康・体力づくりに貢献する活動を推進する」と、連携・協力の方針について示しています。そして、5つの取り組みの指針を掲げ、社会との連携・協力の取り組みを推進しています。



## (1) 地域活性化拠点としての社会貢献センターの機能充実

令和3(2021)年度においても、泉大津市およびライフスポーツ財団から助成金を受けて活動しました。

## ◆ 主催事業 ◆

事業名	概要
大阪体育大学教育学部教育出前講座	本学教育学部教員が、小学校に対して出前講義を行う。
子ども運動教室	前期・後期それぞれ10回ずつにわたって、3歳から小学校2年生までの子どもたちを対象に、運動を得意とする子どもだけでなく、運動の苦手な子どもも障がいのある子どもと一緒に楽しめる運動教室。多くの学生スタッフと専門教員が関わり、それぞれの子どもにあった運動プログラムを考え、きめこまかな実践指導を保護者同伴で実施している。
子どもスポーツクラブ 「キッズボーシャーズ」	本学学内施設において、小学生を対象としたスポーツプログラムを週1回提供。特定の種目に偏らず、さまざまなスポーツを体験したり、さまざまな能力が開発されるように工夫している。本学の資源であるノウハウ、施設、学生、教員を地域社会に還元することで、地域社会と本学との好環境を生み出すことを目的とする。
障害体験授業	熊取町内の小学校に対して、福祉教育（障害体験）のための出前授業を提供した。内容は小学校の要望に応じて、車椅子体験とアイマスク体験の2つの内容から選択。 11月9日 熊取町立西小学校 3年生 アイマスク体験 11月10日 熊取町立東小学校 4年生 車いす体験 11月17日 熊取町立中央小学校 4年生 車いす体験 11月24日 熊取町立北小学校 3年生 アイマスク体験 11月25日 熊取町立北小学校 4年生 車いす体験
女性が輝き続ける社会をめざして (熊取町連携事業)	熊取町との連携事業であり、仕事と子育ての両立について、講演会を実施した。
特別支援教育 教育講演会	本学特別支援教育担当者が、全国の研究者・実践家・医療関係者・行政関係者をコーディネートして、最新かつ斬新な教育情報を地域特別支援教育関係者、行政関係者、保護者に提供した。 特別支援教育 教育講演会（オンライン開催） 日時：令和4(2022)年2月19日（土）／13:30～17:00 参加費：無料 場所：大阪体育大学 対象者：特別支援教育担当者 他 テーマ：「～共生社会の構築に向けてパラスポーツが果たす役割を考える～」 教育講演：「パラスポーツは共生社会につながるのか？」 花岡伸和 ダンス講演：「Dance Assemble アマカマ・ドウによる創作ダンス」 安田友紀 教育シンポジウム：「様々なパラスポーツから共生社会を考える」
特別支援教育トワイライト研修会	特別支援学校や地域の小・中・高等学校の教員や泉州地区教育委員会の担当指導主事等の特別支援教育へのスキルアップを図るため、特別支援教育の研修会。

## ◆ 受託事業 ◆

事業名	概要
(公財) ライフスポーツ財団受託研究事業	ライフスポーツ財団が実施する親子スポーツに関する調査研究を実施。
泉大津市教育委員会受託事業	泉大津市教育委員会と連携し、泉大津市内の小学校児童を対象とした運動教室を実施。

## 5) 就職力

学生一人ひとりが志望する進路の実現に向けて、キャリア支援に力を注いでいます。「就職」ということだけではなく、学生の「潜在能力の開発・向上」さらに「社会人としてどうあるべきか」「人としてどう生きるか」を含め、学生自らがキャリアデザインを考え、自分の将来のビジョンを設計できるよう、さまざまなキャリア支援プログラムに取り組んでいます。

### (1) 公務員試験合格者数(現役)80-100名に向けての施策立案・実施

コロナ禍において学習機会を確保するため、公務員講座はオンラインで動画コンテンツや教材を配信しました。個別指導についても、ZOOMをはじめとしたオンライン通話サービス等の活用によって、オンライン上で学習相談や文章添削などの学習サポートを提供する体制を令和2(2020)年度同様に継続して実施しました。

### (2) 企業支援講座の精査(社会人基礎力の向上や業界研究の充実、先輩の活用等)

コロナ禍においてオンデマンド形式と対面形式で、キャリアデザインの授業の学びを基に、自己分析、業界研究のさらなる醸成を図りました。人事担当者と他大学生の交流を目的とした「キャリアブロッサム(対面)」や半日で就職活動の知識を学ぶ「半Day 就活集中特訓講座」、「キャリアだョ! 全員集合」、「グループワーク講座(オンライン開催)」を例年の通り実施し、加えてオンライン面接練習も行い、オンライン面談も新たに実施しました。オンライン中心のイベントや講座となりましたが、キャリア意識の醸成につなげました。



### (3) 卒業生や内定者と就職活動生の有機的な連動

コロナ禍の影響で卒業生や内定4年生との対面の機会は少なかったですが、ZOOM システム等で後輩(3年生)への指導・サポートを行いました。「未来の窓口」などのイベントや個別対応を定期的に行いました。

### (4) 基礎学力講座の充実

昨年構築したオンラインシステムで原稿提出から返却まで行い、添削指導など文章作成力の向上に努めました。キャリアデザイン授業では「文章力講座」の授業を学習支援室が担当しました。

#### ◆ 就職希望者の就職率 ◆

	平成 29(2017)年度	平成 30(2018)年度	令和元(2019)年度	令和 2(2020)年度	令和 3(2021)年度
体育学部	96.2%	95.3%	96.2%	92.6%	95.1%
健康福祉学部	92.4%				
教育学部		96.5%	98.4%	95.3%	94.4%
全体	95.3%	95.6%	96.7%	93.2%	95.0%

## ◆ 教員採用試験現役合格者数 ◆

受験年度	平成 29 (2017) 年度	平成 30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度	令和 2 (2020) 年度	令和 3 (2021) 年度
合格者数 (延人数)	27 人	52 人	47 人	55 人	63 人

## 6) 学生募集力

学生の募集力を維持向上するため、「学生の募集力を維持向上させるための活動の充実」「教育学部における教育活動の特色の明確化と入試方法の検討」「入試のあり方の検討と運営体制の改善」「広報活動の充実と強化」に取り組んできました。少子化が進む環境の中、本学の特色を生かしながら募集力を強化しています。

## (1) 学生の募集力を維持向上させるための活動を充実

YDA (Yahoo ディスプレイ広告) で広く告知を試みた初年度であり、ホームページ(入試情報サイト)への流入については効果が数値的にも出ました。この結果を受け、次年度も継続することとしました。また、イベント毎にタイムリーなDMを実施し、情報提供に努めました。

## (2) 入試(募集)広報活動の充実・強化

資料請求者に対して、SNS や紙DM、WEB DM をイベント開催に合わせて1年を通じて発信しました。加えて、進学相談会、高校内ガイダンス、オープンキャンパス参加者の後追いDMも実施し、出願促進を心掛けた施策を行いました。また、広報室と2週間に1度のミーティングを通して、情報交換および、ホームページの閲覧状況等の確認を行いました。その際に、流入をいかに増やすか、直帰率をいかに下げるかなど、魅力のあるホームページの展開を議論し、お互いの立場で意見交換を行いました。

## (3) 入試制度の充実

学校推薦型選抜の選択科目において、新たに社会科目(世界史・日本史)を導入しました。受験科目を増やすことで、受験生層の拡大と受験機会の確保につなげることができました。また、本学初の大学入学共通テスト利用選抜(前期・後期)を導入しました。全国の受験生への認知と受験機会の拡大につながり、受験者の獲得となる大学入学共通テスト利用選抜(前期・後期)となりました。

## ◆令和3(2021)年度大学入試結果(概要) ※編入学入試除く ◆

令和3(2021)年3月末日時点

	志願者数 (延数)	(対前年)	受験者数 (延数)	合格者数 (延数)	入学者数	入学定員
体育学部	1,820 人	84%	1,728 人	950 人	555 人	520 人
教育学部	550 人	78%	508 人	300 人	128 人	125 人
計	2,370 人	83%	2,236 人	1,250 人	683 人	645 人

## ◆令和3(2021)年度大学院入試結果(概要) ※編入学入試除く◆

令和3(2021)年3月末日時点

	志願者数	(対前年)	受験者数	合格者数	入学者数	入学定員
博士前期課程	38人	141%	38人	33人	32人	24人
博士後期課程	4人	133%	4人	4人	4人	6人

## 7) 広報・マーケティング力

大体大アイデンティティとブランドの醸成を図り、ステークホルダーとの長期的関係性の構築のための活動に取り組んでいます。

## (1) 戦略的大学マーケティングの推進

大学のブランディングに寄与する資産である教員の研究活動やクラブ活動、社会貢献活動をPRし、大学ブランド力のアップに寄与するためメディア露出に注力しています。令和3(2021)年3月末現在でプレスリリースは22件、メディア掲載数は82件で、前年度以上の露出を実現できました。

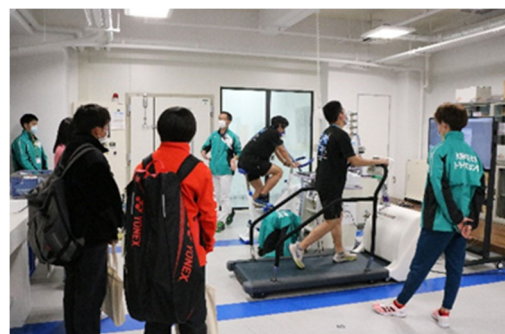


## (2) 生徒、学生、保護者、卒業生、教職員、名誉教授、客員教授、そして企業や地域社会などのステークホルダーとの長期的関係の構築

学生・教職員・同窓生の一体感醸成やステークホルダーとの長期的関係の構築のため、積極的な情報発信に努めています。大学ホームページやSNSを通じて学内のイベント、トピックスなど多彩な記事を令和3(2021)年3月末現在で292本(コロナ関連の連絡を除く)発信し、前年を上回りました。学内誌OUHSジャーナルを年3回、学内スポーツ新聞OUHSスポーツも年2回発行しています。また、学生募集増をめざして保護者を広報戦略の重要なターゲットとし、ホームページで保護者のページを新設しました。

## (3) オープンキャンパスと入試広報の拡充

令和2(2020)年度に引き続き、コロナ禍の中でのオープンキャンパスとして、人数限定の対面式開催とともに、WEBやオンラインによるオープンキャンパスの充実を図りました。今後WEBやオンラインでの動画をアーカイブ化して、学外からアクセスしやすいように整理する必要があります。広報室と入試部広報担当者が定期的なミーティングを開始したことで、より円滑に企画と運営が進みました。





## 8) 組織力・経営力

法人および関連教育機関との連携強化、大学組織の点検・整備など、大学に属する全ての学生がよりよい環境で学べるよう課題に取り組んでいます。また、大学経営を円滑に進め、本学が進めている中期計画最重点課題およびビジョン重点施策を推進するため、さまざまな改革に努めています。

### (1) 理事会、評議員会、経営会議等の役割と分掌の明確化および連携強化

「学園の円滑な管理運営を図るため」を目的とした常任理事会が機能し始め、会議の統廃合も進み、計画で掲げていた役割と分掌の明確化と連携強化が図れるようになりました。

### (2) 教学マネジメント体制の検証と再構築

「内部質保証」との関係で教学マネジメントの体制が整備されました。今後はこの体制を適切に運用できるかどうかを検証していく必要があります。

### (3) 高等教育無償化の制度の具体化に向けた方針の策定

高等教育無償化の制度を積極的に活用する方針とし、円滑な運用方法を検討および実施し、業務をルーティン化することができました。

### (4) 私立大学版ガバナンス・コード(自主行動基準) の策定

「学校法人浪商学園大阪体育大学ガバナンス・コード」が令和3(2021)7月1日に制定され、公表されました。

### (5) IR 機能整備と機能強化および企画部署の設置と適切な運営

IR 規程が整備され、規程にもとづいて IR 委員会が設置されました。今後 IR の適正かつ効果的な運営を図ることが期待されています。

### (6) IR データ収集・分析のためのシステム検討

IR データ収集のためのシステムが導入され、学内外の教育・研究・社会貢献・大学経営等に係る情報の収集および分析、提供を行う環境が整いました。



## 2. 大阪体育大学浪商中学校・高等学校

### ◆目標

学校改革をダイナミックに推進し、真に「生徒・保護者から選ばれる学校、地域社会から支持される学校、卒業生が誇れる学校」づくりを行います。また、教育体制の整備と教育力の向上を図り、生徒の安定確保を可能とします。あわせて、学力と規範意識の向上をめざした基礎づくり体制を構築し、生徒個々の夢の実現ができるよう関係者全員が一丸となった学校をめざします。

### 1) 生徒の確保

中学校・高等学校とも志願者数を増やし、入学者の確保とレベルの向上に努めました。入試対策室を中心に、中学校(209校)や塾(563校)に複数回訪問し、関係作りに注力しました。高等学校では、新コースの魅力を知ってもらうために SNS や 360° VR 学校ツアー等、さまざまなツールで情報を発信しました。また、高大連携を進めていくため大阪体育大学スポーツ局との連携強化を図りました。加えて、部活動ごとのクラブ体験会や近隣の中学校に対しての学校見学会・説明会も積極的に行いました。中学校では、2クラス2コース制から1クラス募集とし、2年次からグローバルプログラムまたはスポーツプログラムを選択できるカリキュラムを設定しました。その取り組みをアピールできるように募集活動の内容をリニューアルしています。

#### (1) 令和4(2022)年度入試状況

中学校は、1クラス35人募集のところ、延べの受験者数は微増となりましたが、複数回受験生が多く、入学者の増加にはなりませんでした。

高等学校における入試は、スポーツ推薦生が例年よりも減ったことと浪商中学校からの内部推薦生が少なかったことも影響し、目標の入学生を確保することができませんでした。スポーツ推薦生以外の専願生の獲得と併願の戻りが増える学校にしていくことが継続課題です。

#### (2) 高等学校に新領域・コースを設置

令和3(2021)年度より高等学校に新領域・コース設置しました。その周知徹底を図るため、学内外において相談会の機会を増やしました。

## ◆中学校入試の経年比較 ◆ ※募集定員： 35 名

	令和 2(2020)年		令和 3(2021)年		令和 4(2022)年	
	受験者数	入学者数	受験者数	入学者数	受験者数	入学者数
計	44	38	43	36	46	34

## ◆高等学校入試の経年比較 ◆ ※募集定員： 280 名

	令和 2(2020)年		令和 3(2021)年		令和 4(2022)年	
	受験者数	入学者数	受験者数	入学者数	受験者数	入学者数
専願	226	221	228	225	201	199
併願	696	35	608	26	643	35
計	922	256	836	251	844	234

**2) 教育の質の向上**

学力向上のための体制整備と取り組みの強化を継続し、教育方法や内容を改善、見直しを実施しました。また進学指導マネジメントシステムを構築するため、指定校推薦枠や提携・連携校の拡大を図りました。

**(1) 令和 3(2021)年度卒業生進学実績について**

令和 4(2022)年 3 月 31 日現在の主な合格実績は、国公立大学 3 名、関関同立 12 名、産近甲龍 34 名、摂神追桃 43 名でした。大阪体育大学への進学は体育学部 26 名、教育学部 9 名でした。

**3) 教育研究体制の整備**

教育体制を強化するために、教職員の研修機会の拡充と校内研修の機会を増やしました。

**(1) 校内研修について**

新学習指導要領委員会が中心となり、中高の課題に応じた研修をタイムリーに実施しました。令和 3(2021)年度は 8 回実施し、日々の教育活動につなげました。

**4) 教育環境の整備**

教育内容充実のため、ICT 環境等の教育環境の整備を図りました。

**(1) ICT 環境の整備**

高校 1 年生に対し、1 人 1 台 iPad を導入しました。あわせて、教員用タブレットの増設も行いました。令和 4(2022)度に向けて円滑な活用ができるように、ICT 機器の充実 (elmocast) と授業支援アプリの導

入 (Metamoji Classroom) を検討しました。

## 5) 生徒への支援

奨学金制度の効果的な運用や部活動のさらなる活性化に向けた取り組みを図りました。また、進学指導体制の充実を図るため自習スペースのリニューアルを行いました。

### (1) クラブ活動の実績

令和 2(2020)年度は多くの大会が中止となりましたが、令和 3(2021)度はほぼすべての大会が感染症対策を徹底しながら予定通り実施されました。まだまだ活動に制限がある中、全国大会や近畿大会に出場・上位入賞等すばらしい活躍をしてくれました。

令和 3(2021)年 12 月 17 日に「令和 3(2021)年度 活動表彰式」が行われ、理事長より優秀な成績を収めた生徒(部活動)に学園賞等が授与されました。その中には部活動だけではなく、「GTEC 奨励賞」の表彰もありました。



### ◆ 大阪体育大学浪商高等学校 クラブ活動の主な成績 ◆

クラブ名	大会名	成績
水泳部	第 89 回日本高等学校選手権水泳競技大会 男子	団体第 4 位
ハンドボール部	第 44 回全国高等学校ハンドボール選抜大会	準優勝
	高松宮記念杯第 72 回全日本高校選手権大会	第 3 位
	サニックスカップ U-17 国際ハンドボール交流大会 2021	優勝
	第 73 回高校新人大会兼第 45 回全国選抜予選大会	優勝
	令和 3 年度第 45 回全国高等学校ハンドボール選抜大会	第 3 位
陸上競技部	秩父宮賜杯第 74 回全国高等学校陸上競技対校選手権大会	女子三段跳 第 5 位 12m41
	第 37 回 U20 日本陸上競技選手権大会	女子三段跳 第 3 位 12m34
	JOC ジュニアオリンピック第 52 回 U16 陸上競技大会	男子走幅跳 優勝 7m00
	第 76 回大阪高等学校総合体育大会	男子団体 総合優勝 (45 年ぶり 4 回目)
レスリング部	令和 2 年度全国高等学校総合体育大会レスリング競技大会 三笠宮賜牌 第 67 回全国高等学校レスリング選手権大会	125kg 級 出場
	令和 3 年度風間杯 第 65 回全国高校選抜レスリング大会	125kg 級 第 3 位

NSC (浪商スポーツクラブ)	【カイトセーリング】	
	2021 Youth Sailing World Championships	日本代表として選出
	【空手】	
	2021 カラテドリームフェスティバル	高校生女子 中量級 準優勝
	2021 カラテドリームフェスティバル	高校生男子 軽中量級 準優勝
	Japan athlete cup 決勝大会	高校女子 53kg 以上の部 優勝
	【キックボクシング】	
	K-1 甲子園 2021	65 <sup>kg</sup> 級 優勝
	K-1 World GP プロ4戦目	判定勝ち
	【BMX】	
2021年UCI BMX スーパークロスワールドカップ	日本代表出場 (トルコ)	
第38回全日本自転車競技選手権 -BMX レース-	チャンピオンシップ カテゴリー 年代別7連覇	

◆ 大阪体育大学浪商中学校 クラブ活動の主な成績 ◆

クラブ名	大会名	成績
体操部	第70回近畿中学校総合体育大会 体操競技の部 男子	団体総合 第1位 4種目個人総合 第3位 種目別跳馬 第1位 種目別ゆか 第1位 種目別ゆか 第2位
ハンドボール部	令和3年度春の全国中学生ハンドボール選手権大会 大阪府予選	優勝
	令和3年度第17回全国中学生ハンドボール選手権大会	第3位
陸上競技部	第67回全日本中学校通信陸上競技大会	男子1500m 優勝 4分20秒
レスリング部	令和3年度 東京都知事杯 第12回全国中学選抜レスリング大会	優勝

## 6) その他

中高大連携の強化を図るため、中高大連携会議において情報共有を密に行いました。また、未来を生き抜く力を育てるため、国際的視野の育成や地域社会との連携も図りました。

### (1) 中高大連携会議

定期的に会議、小会が開催される中で、より効率的に連携が進みました。発展的な取り組みにより中学校・高等学校の魅力高め、生徒の満足度を高めていきたいと思っております。

### (2) 提携・連携校との取り組み

提携事業としていろいろな体験を行いました。高等学校においては、令和3(2021)年8月に関西医療大

学やペガサス南大阪専門学校（馬場記念病院）で看護体験や理学療法体験、12月に河崎リハビリテーション大学でリハビリテーション分野の体験等を行いました。高校生の進路を考えるうえでとても有意義な時間となりました。また、四天王寺大学の「初心者のためのピアノ教室」にも参加させていただきました。中学校においては、9月に関西医療大学から養護教諭をめざす学生の実習を受け入れました。今後も引き続き実施していく予定です。





### 3. 大阪青凌中学校・高等学校

#### ◆目標

大阪青凌中学校・高等学校は、「自主自律」を校訓とし、「智」「徳」「体」に調和のとれた人材の育成を教育目標としています。重点項目として、①確かな学力と主体的な学習態度の育成、②校訓の精神を体現し、生徒の自主性を伸ばす教育活動の推進、③地域から信頼され、進学校として認知される教育体制の構築、を掲げています。

#### 1) 生徒の確保

安定した生徒募集の達成、専願対象として選ばれる学校づくりをめざしました。また令和2(2020)年度に引き続き、校地移転情報の周知を強化しています。

##### (1) 令和4(2022)年度入試状況

中学校入試で、特進コースに7名、進学コースに7名の計14名を迎え、高校入試では、特進Sコース35名、特進コース108名、進学コース149名の計292名が入学しました。志願者については、中学校入試では、昨年度の89名から35名に半減、高校入試では、973名から926名に減少しました。

中学校入試では、2年連続で競争率が上がったことによる塾や保護者の不安を解消できなかったこと、高校入試では、特進Sコースの戻り率が32.1%(昨年27.0%)、特進コースの戻り率が22.8%(昨年14.4%)と上昇したことが特記されます。

#### ◆ 中学校入試の経年比較 ◆ ※募集定員： 30名

	令和2(2020)年		令和3(2021)年		令和4(2022)年	
	受験者数	入学者数	受験者数	入学者数	受験者数	入学者数
計	66	35	77	30	26	14

## ◆ 高等学校入試の経年比較 ◆ ※募集定員： 280 名

	令和2(2020)年		令和3(2021)年		令和4(2022)年	
	受験者数	入学者数	受験者数	入学者数	受験者数	入学者数
専願	195	184	179	175	157	148
併願	1,031	178	791	131	767	144
計	1,226	362	970	306	924	292

## 2) 教育の質の向上

全学年で iPad 1 人 1 台 (Apple Pencil 利用) の環境が整い 2 年目となりました。授業では、教材の配付やノートアプリの活用、keynote を使ったプレゼン発表等、多岐にわたって iPad が活用されています。また同時に Classi や Google Classroom、スタディサプリ等のソフトウェアも活発に活用されています。今や iPad や Classi は、学校生活になくてはならないものになっています。

また、令和 3(2021)年より全コース 34 単位制がスタートしました。この目的は、授業外の時間を自らマネジメントし、自ら学ぼうとする態度をもった生徒の育成です。

## (1) 令和4(2022)年度進路実績

本年の高等学校の進学実績は、国公立大学 32 名、関関同立 109 名、産近甲龍佛 495 名となりました。国公立大学合格は数の上では微増ですが、京阪神レベルの合格は約 10 名となりました。一方、有名私立大学の合格者数は飛躍的に向上しました。ついに現役生だけで関関同立の合格者が 100 名を突破し 109 名となりました。また、産近佛龍の現役生の合格者が 482 名となり、その現役合格率は 97.3% でした。

## ◆ 主要大学合格数 直近3年間の推移 ◆

国公立大	合格者数	主な合格校 (一部抜粋)			
令和2年度 (34期生)	33	神戸大1、大阪市立大1、大阪府立大6、京都工芸繊維大2			
令和3年度 (35期生)	30	大阪府立大2、京都工織大1、新潟大1、奈良教育大1、兵庫県立大5			
令和4年度 (36期生)	32	大阪大1、神戸大2、大阪公立大2、九州大1、広島大1、三重大(医・医)1、京都府立大1			
関関同立	合格者数	関西大	関西学院大	同志社大	立命館大
令和2年度 (34期生)	58	24	9	6	19
令和3年度 (35期生)	81	36	5	10	30
令和4年度 (36期生)	109	44	10	22	33

## (2) ICTの取り組み

## ① オンライン授業例 ※ZOOMなどを使用

- オンライン授業のみ



- オンライン授業+演習
- オンライン授業+オンライングループワーク
- 演習+オンライン質問部屋
- 演習+オンライン解説

※令和3(2021)年度は全校生に、7月5日と1月22日、24日、25日(臨時休校期間中)と2月8日、9日(高校入試前の準備期間)に実施。

② WEB 配信 ※課題配信やYoutube(教員作成)・スタディサプリなどの動画を使用

- 課題配信
  - Google classroom の活用  
(HR 全クラス分と各教科全科目の全クラス分、合計約 300 開設)
- WEB テスト、アンケートなど

※ほぼ全教員が日々の授業で教材配信や課題配信を日常的に実施しています。

③ 生徒・保護者への連絡周知の徹底 (「Classi」の活用)

学校・学年・学級担任等から、日々の連絡事項や緊急の連絡事項を即時に配信し、周知できています。

④ 教員間における毎日の連絡周知の徹底 (「Classi」の活用)

**(3) 探求学習の取り組み**

本格的な探求学習に取り組んで3年目。高校1年生、2年生において、教科の授業内での取り組みも含めて、探求学習というコンセプトが定着してきています。以下に高校1年生、2年生の主な取り組みをご紹介します。

①高校1年生

教材は「ENAGEED」を採用。今の社会において何が課題か、またその課題を解決するためにはどうすればいいかを考える力を養うことが目的。SDGs の目標と関連のあるテーマで、グループごとにプレゼンテーションを行いました。

②高校2年生

教材は「コーポレートアクセス」を採用。このワークブックは、副題に「企業探求コース」とあるように、実在する企業にインターンとして参加することを疑似体験する構成になっています。「働く」ということの意義や目的、グループ活動をする時に重要なものは何かを考え、活動を通して自ら疑問を持ち、自発的に考える力や発想力を養うのが目的。

企業を知るためのオリエンテーションから始まり、企業からミッションを受け、新規事業や新商品を考えるプレゼンテーションに取り組みました。

毎年開催される「クエストカップ」に、令和3(2021)年は全国から約4000チームが参加。各企業がそれぞれ優秀賞12チームを選出し、全国大会がリモート形式で開催されました。その全国大会に、大和ハウ

スから高校2年1組のチーム「ASAHI☆」が選ばれました。このチームのテーマは、「木質バイオマスエネルギーを使って発電し、地域の活性化につなげる」というもので、実在の集落を挙げ、SDGs のコンセプトに基づいて具体的にプランを提案するものでした。まず、ファーストステージで大和ハウスの企業賞(大和ハウスで1位)を受賞。続くセカンドステージでは、12の企業から選ばれた2チーム、計24チームの中から準グランプリに選ばれました。学校としてクエストカップ参加3年目での快挙となりました。



#### (4) 情報モラル教育

入学当初“学習に関係するもの以外への使用は禁止”と iPad 活用方法等のガイダンスで呼びかけているにも関わらず、休み時間や授業中の不適切使用、依存する生徒が散見されるようになりました。また、Air Drop を使って匿名でいたづらをしたり、許可を得ずに写真や動画の撮影をしたりするなど、メディアリテラシーの欠如が原因のトラブルや、SNS (Instagram・LINE) でのトラブルもありました。そこで、情報モラル教育に取り組んできました。

今後も、生徒1人ひとりが情報モラルを持って ICT 機器を有効的に活用するとともに、スマートフォンや iPad、SNS はあくまでコミュニケーションツールのひとつであるということを再認識するよう指導していきます。相手を思いやり、行動することができる生徒を育成することで、「だれひとりとして被害者にも加害者にもしない」、「だれもが安心して学校生活を送る」ことを目標に、情報モラル人権教育に学校一丸となって取り組んでいきます。

#### (5) 学校評価について

毎年、生徒・保護者・教職員を対象に「学校評価」を実施し、その結果をホームページ上で公開しています。(※詳細は公式ホームページをご参照ください)

ちなみに今年度の「本校に入学してよかったか」(保護者については、「入学させてよかったか」という質問項目に対して、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせたパーセンテージは、以下の通りでした。

- 生徒 中学生 96% 高校1年生 87% 高校2年生 82% 高校3年生 84%
- 保護者 中学生 86% 高校1年生 92% 高校2年生 92% 高校3年生 88%

※なお教職員については、「本校の職場環境に満足している」という質問項目に対して、「よくあてはまる」「ややあてはまる」という肯定的回答は89%でした。

### 3) 教育研究体制の整備

新任教員に対しては、1年目は原則担任はもたせず、年間を通して研修(年9回の授業見学)を義務付けています。

また令和3(2021)年度より、常勤講師および専任講師について、年間25週で、週休2日制が実施できました。

#### 4) 本校における新型コロナウイルス感染症対策

- 全HR 教室・実技教室・カフェテリア・職員室等に「エアバスター」の設置  
「エアバスター」は東京都の救急車にも搭載されているオゾン発生装置  
→オゾンによって菌やウイルスを除菌する仕組み
- 校舎の出入り口等に自動体温測定器と手指消毒剤の設置
- マスク常時着用の徹底・手洗いの励行
- 自習スペース・図書室・カフェテリアの座席にパーティション設置
- 教室と職員室の消毒作業
- 生徒・教職員の毎朝の検温記録と健康観察
- 学校と家庭間で、生徒たちの体調に関する情報共有(保護者の Classi「欠席連絡」への入力)
- 教職員のワクチン接種の促進(学校医とも連携)

※本校における新型コロナウイルス感染症の罹患状況と休校等の措置

- 令和3(2021)年4月～12月： 約10名(生徒教職員合計)
- 令和4(2022)年1月～4月： 約40名(生徒教職員合計)
- 高校2年生学年閉鎖期間： 令和3(2021)年8月28日(土)～9月3日(金)
- 臨時休校期間： 令和4(2022)年1月21日(金)～25日(火)

#### 5) 生徒への支援

##### (1) 同窓会奨学金の活用

本校に入学後、顕著な成長が認められた生徒を学年団が選抜し、毎年4～5名を同窓会に推薦。推薦された生徒に対して、同窓会から図書券3万円分が贈呈されます。対象は高校2年生および3年生で、次年度1学期始業式にて発表しています。令和3(2021)年度は、2年生6名、3年生6名でした。

##### (2) 野田三郎100周年記念奨学金の活用

高校3年生を対象に、3年間の学校生活において顕著な功績をあげた生徒に対し、学園100周年を記念する返還義務のない奨学金を供与しています。令和3(2021)年度は19名が選出されました。保護者同伴で来校していただき、1組ずつ野田三郎先生の功績を紹介したのち、奨学金の目録をお渡ししています。

(3) クラブ活動の実績

◆ クラブ活動の主な実績 ◆

クラブ名	大会名	成績
男子硬式野球部	令和3年度第68回 大阪私立高等学校総合体育大会	ベスト8
	令和3年度第103回 全国高等学校野球選手権大阪府予選	4回戦進出 (ベスト32)
サッカー部	令和3年度大阪高校春季サッカー大会	3回戦進出
女子バスケットボール部	第69回大阪高等学校バスケットボール新人大会	2回戦進出
男子バスケットボール部	第69回大阪高等学校バスケットボール新人大会	3回戦進出
剣道部	第76回大阪高等学校総合体育大会剣道大会	男子団体 ベスト16
バドミントン部	第75回大阪高等学校春季バドミントン競技会	男子Ⅱ部 ダブルス5回戦進出 女子Ⅱ部 ダブルスベスト8
	第76回大阪高等学校総合体育大会	男子Ⅱ部 シングルス ベスト32
	第69回大阪高等学校バドミントン選手権大会	男子Ⅱ部 ダブルス 4回戦進出 女子Ⅱ部 シングルス 5回戦進出
	令和3年度第68回大阪私立高等学校総合体育大会	男子団体戦 ベスト8
男子硬式テニス部	令和3年度春季テニス大会・秋季テニス大会	予選敗退
女子硬式テニス部	令和3年度春季テニス大会・秋季テニス大会	予選敗退
弓道部	第76回大阪高等学校総合体育大会弓道競技	女子団体 優勝 (インターハイ出場)
	第14回大阪城弓道場杯高校弓道大会	男子 個人優勝 女子 個人優勝
	第1回清心弓道大会	男子 個人優勝 2部 団体優勝
陸上競技部	第76回大阪高等学校総合体育大会	地区予選会1・2地区出場
ダンス部	第14回 日本高校ダンス部選手権 春、夏の公式大会(2021)	出場
	マイナビ HIGH SCHOOL DANCE COMPETITION 2021	出場
吹奏楽部	第60回大阪府吹奏楽コンクール北摂地区大会 高等学校の部 A組	銀賞
	第48回大阪府アンサンブルコンテスト (金管八重奏)	金賞





## 4. 大阪体育大学浪商幼稚園

### ◆目標

建学の精神である「不断の努力により智・徳・体を修め社会に奉仕する」のもと、知育・徳育・体育を修得し、生活を豊かなものとするために自ら進んで創造する子ども、またバイリンガル保育環境により多様性を柔軟に受け入れ、個性を輝かせる豊かな表現力を持つ子どもを育成します。

### 1) 園児の確保

安定した園児確保(360名)の達成のため、見学会の充実、募集パンフレット、バスルートの見直しなどを図っています。

#### (1) 令和4(2022)年度新入園児募集

令和4(2022)年度の募集に関しては、3年保育標準クラス90名の募集に対し、弟妹関係などの優先枠での入園希望が32名、一般での入園希望は29名にとどまりました。イマージョンクラス30名の募集に対しては、弟妹関係などの優先枠での入園希望が24名、一般での入園希望は6名でした。そのため、令和4(2022)年度においては、年少組1クラス減の11クラスでのスタートとなり、園児数は331名です。茨木市全般の状況としては、共働き家庭の増加にともない、保育時間の長い施設が好まれる状況が見受けられます。

### 2) 教育の質の向上

iPadを教員に配付と共に「れんらくアプリ」の導入を行いました。また、イマージョンクラスのみを設置だったモニターを全クラスに配置しました。アプリ導入の結果、バス運行ならびに保護者への連絡について、効率的な運営ができるようになりました。

#### (1) ICTの活用

令和3(2021)年4月より、iPadを1人1台教員に配付。担当者を決め、iPadの研修を行うとともに、使用方法の決定や、運用方法の話し合いを行いました。モニターの導入も行ったので、iPadから写真や動画をモニターに写し、クラス全体で取り組むダンスの練習や、保育の中での活用が始まっています。教員



間の連絡も Google「classroom」を活用し、情報の共有ができるようになっていきます。

令和3(2021)年9月より、「れんらくアプリ」の導入を行ったことで、朝の電話での欠席連絡や、お迎え等の連絡もアプリへの入力 that 定着してきました。今後も、「れんらくアプリ」の運用を広げていく予定です。

## (2) 新型コロナウイルス感染症対策

感染が増加、減少を繰り返している新型コロナウイルス感染症に関しては、石鹸での手洗いや手指の消毒、放課後の保育室や、備品の消毒を継続して行っています。備品に関しては、年齢も低いいため、口に入れたり、なめたりすることが多いこともあり、念入りに消毒しています。細かいおもちゃ等に関しては、オゾンの光で消毒できるボックスを全クラスに購入。箱に入れて1時間放置しておくだけで除菌ができるので、おもちゃ等も液体で消毒するより、傷みが少なくなりました。

## 3) 教育環境の整備

### (1) 遊戯室上倉庫の工事・空調工事

大阪北部地震や新型コロナウイルス感染症対応で延期になっていた、お遊戯室上の倉庫の整備が行われました。すべての物を運び出し、業者に倉庫の寸法にあった棚、木箱を作成してもらい、倉庫内がとても分かりやすく、見やすく整理されています。

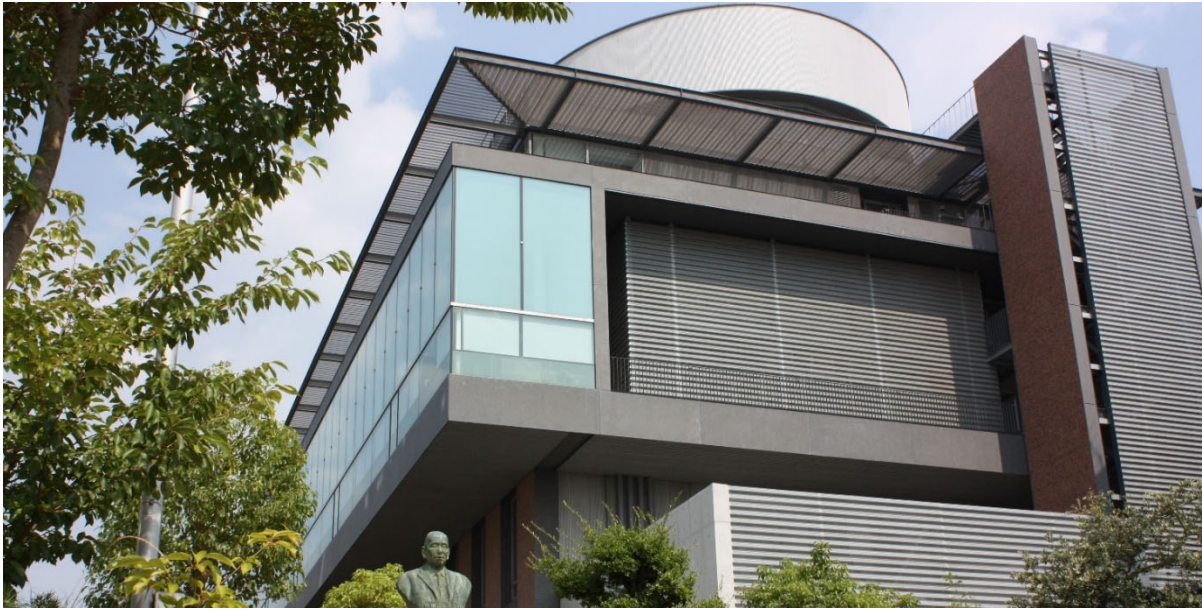
また、経年劣化の空調機に関しては、令和3(2021)年度の春休みに、室内・外ともに新調され、快適な保育を行うことができます。



## 4) 園児・保護者の支援

### (1) 預かり保育の現状について

令和2(2020)年度より、定員数を40名に増やし預かり保育を行っています。毎日5時～6時まで仕事をしている保護者も増え、令和2(2020)年12月に月極の申し込みが40名を越えたため、令和3(2021)年度より、月極の申し込みを学期単位とし、今まで行っていなかったキャンセル待ちの申し込みも行うようになりました。午前中保育、午後保育に関わらず、定員の40名以上の申し込みがあるため、教員も毎日3名体制で、預かり保育を行っています。



## 法人本部

### ◆目標

法人本部は、建学の精神に基づき学園経営として総合的な視野で活動を行います。令和3(2021)年度は学園創立100周年の年であり、変革の年です。「学生・生徒・園児への教育を中心とする教学の主体性を尊重しながら、学園の総合的な魅力を高め、卒業生、保護者、教育機関、企業、地域などあらゆるステークホルダーに認められる教育機関をめざす」ことを再確認し、次の世代に向けた目標となる「新ビジョン（以降「100周年ビジョン」）」と設置校が一体となる「経営の中期目標と計画（以降「中期計画」）」の作成に向け周知を行います。加えて、学園のガバナンス体制の整備や学園で働く教職員が安心して働ける環境整備も推進し、法改正や社会的な要請にも迅速に対応します。

### 1) 学園の企画機能の充実

学園創立100周年の節目の年として、建学の精神と学園の歴史や取り巻く社会環境を総合して、将来に向けた目標の策定と設置校の調整など、学園内の総合的な調整を行いました。

#### (1) 学園の長期ビジョン策定と中期計画の抜本的な見直し

学園創立90周年に掲げた100周年までの長期ビジョンを前提とし、学園のさらなる充実・発展のため、今後10年間の全教職員の目標となる「100周年ビジョン」を策定しました。併せて、その内容を踏襲し各設置校の伝統と方針を加味した「設置校ビジョン」も策定しました。

また、「100周年ビジョン」を受け、中期計画については、学園として方針を統一し、全設置校が5年間の中期計画を策定しました。

#### (2) 設置校の安定的向上に向けた取り組み

学生・生徒・園児の募集活動に向けた計画の策定と、日々の課題解決に向けた取り組みを継続して実施しました。

教育サービスを低下させることなく、設置校が財政的に自立できるような計画に策定を行い、中高大の連携についても積極的に取り組みました。

### (3) 危機管理体制の充実

令和3(2021)年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、教育活動についても大きな支障をきたしましたが、文部科学省や大阪府からの要請も確認し、教育現場の緊急対応は設置校に任せることで対応し、学園の危機対策本部を中心に設置校の活動について把握し指示を行いました。

### (4) 学園広報の充実

学園報「ちぬ」により学園情報の共有を促進させ、学園全体の一体感の醸成につなげました。

- Vol. 59 (R3. 6. 23) 理事長と新学長対談
- Vol. 60 (R4. 2. 5) 学園創立 100 周年ビジョン策定

### (5) 学園創立 100 周年記念事業の成功に向けた取り組み

新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、記念式典は1年間の延期を決定しましたが、他の活動については精力的に取り組みました。

#### <記念式典委員会>

令和3(2021)年11月13日(土)の開催を中止し、令和4(2022)年11月6日(日)への延期を決定しました。

#### <記念誌委員会>

計画通り100周年にあたる令和3(2021)年11月に完成し、関係各所に配布しました。また、第2、4代理事長 野田三郎の功績を多くの人に知っていただくために「伝記マンガ」も併せて発刊しました。

#### <記念募金委員会>

学内教職員に対して、給与引落し制度の導入を行い、寄付手続きの緩和を行いました。また、あらためて卒業生を含めた多くのステークホルダーにご案内させていただくことで、創立100周年記念奨学金(野田三郎奨学金)に対する賛同者の増と募金額の増につながりました。

#### <自治体との連携>

熊取町の町政70周年との連携を行い、熊取駅前など町内での広報活動にも取り組みました。

## 2) 管理運営制度の整備

学園のビジョン達成に向けた教職員の一体感を充実させるための環境整備に取り組みました。また、変化の激しい環境の中で教職員の働き方改善に向けて対応するため、機能や体制の整備も行いました。

### (1) ガバナンス体制の強化

令和2(2020)年度から開始した常任理事会の活性化によって、理事会・評議員会への議題の内容の醸成と、理事会と設置校の取組内容への意思疎通を図ることができました。

### (2) 人事賃金制度の整備

令和3(2021)年4月から事務職員に対して、評価基準の明確化とモチベーション向上を目的に、これまでの制度からメリハリのある資格・賃金制度に改定した「新人事制度」を導入しました。また、学園全体



の健全な経営と、設置校の自立をめざすことを前提に、教員の人事制度の変更についても検討しました。

### (3) 教職員の健康管理の充実

令和 3(2021)年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う政府の方針(緊急事態宣言、まん延防止等重点措置)を受け、学園の危機対策本部を通じて継続的な注意喚起や在宅勤務・時差出勤の推奨によるリスク回避につなげました。また、感染後やワクチン接種による体調不良への勤務対応を緩和しました。

### (4) 学園風土の健全化と更なる向上に向けた取り組み

学園創立 100 周年に向けて結成された組織風土改革プロジェクトとして、事務職員に向けた研修の実施や「SFGs (SOSHIKI FUDO GOALS 浪商学園をより良くするための 17 の項目)」の提案が行われ、「事務職員行動指針」の浸透に向けての意識改革に取り組みました。

## 3) 財務管理体制の充実

監査機能の充実に向け、監事監査、監査法人監査と内部監査の連携を強化し、学園の健全性と設置校に対する効率的な支援を行いました。

### (1) 監査機能の充実

監事監査や監査法人監査と内部監査の連携強化によって、現場で発生している課題を追求し、迅速なフィードバックによって解決へつなげました。

### (2) 業務遂行能力の向上と維持

継続した業務フローの見直し等によって、更に効率的な業務遂行を行うことができました。

### (3) 各設置校の財政的自立に向けた支援

予算管理の徹底に向けて、費用対効果の検証を行い設置校の投資の適正化を行いました。また、設置校に関連する周辺会計についても内部監査によって透明性のある内容にすることができました。

## 4) 施設の整備

経営的な視点から、学園の財政状況を勘案して、最前の教育サービスを提供できる体制づくりに取り組んでいます。

### (1) 施設整備の推進

大きな課題であった大阪体育大学体育館への空調設置について、既存体育館の状況を勘案して最善の方法で行いました。また、陸上競技場の公認検定更新工事や剣道場等の改修に加え、学生へのイメージアップも図ることを前提に、利用の多いトイレの改修工事にも取り組みました。

### (2) 情報通信システムの更新

新型コロナウイルス感染拡大による長期間の緊急事態宣言を受けて、対面授業の自粛が求められる中、

大学教員との連携によってリモート授業への対応を図りました。また計画的な、複合機の入替等について検討を行いました。

## 5) サービス機能の充実

学生・生徒・園児に対するサービスはもとより、学園で働く教職員やステークホルダーに対するサービス向上を図ります。

### (1) 学生サービスに視点を置いた機能の充実

学園100%出資会社である(株)浪商総合サービスでは、継続的な保険サービスの提供と、コロナ禍での学生へのサービスの充実に向けた「パソコン販売」や生活支援を行いました。また、学園内での清掃業務や自動販売機の業務契約などを含め、新規事業の計画も行いました。

### (2) 学生・教職員のニーズに対応する診療所体制の整備と強化

学生の競技復帰に向けたリハビリ体制の充実や、インフルエンザ予防接種の利便性の充実を継続して実施しました。また、今年度も新型コロナウイルス感染症の学内での感染拡大防止のため、学生や教職員への対応を行いました。大学のコロナ対策本部との連携によって、迅速に対応を図ることによって感染を最小限に抑えることができました。

### (3) 地域貢献に伴う活動

トップスポーツクラブによる体操を通じた学園としての地域貢献については、会員数の増加を図ることができましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、満足のいく活動ができませんでした。また、トップスポーツクラブ会員の意思を反映させ、大阪体育大学浪商中学校への進学のおすすめを行うことができました。

### Ⅲ 財務の概要

#### ◆ 令和3(2021)年度決算について ◆

法人事務局 財務部

資金収支計算書は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入および支出の内容と、支払資金（現金預金）の収入および支出のてん末を表します。事業活動収支計算書は、企業会計の〔損益計算書〕に相当するものです。

事業活動収支計算書では総収入を事業活動収入と言い、総支出は事業活動支出と言います。

当該年度の事業活動収入を財源として、当該年度の事業活動支出を賄えば、健全な財務状況だと言えます。

基本金とは、学園の施設・設備、機器備品、図書等の基本的な財産を取得する為の資金で、また学園を維持すべき資産の額です。基本金が充実される事は、教育研究にとって良い環境であると言えます。

#### 【 決算の概要 】

##### 1. 収支計算の状況

###### ○ 資金収支計算書

前年度に比べて収入の部は、学生生徒等納付金収入が115百万円の減となったものの、補助金収入については、国庫補助金収入が55百万円の増、府補助金収入が12百万円の増となり、補助金全体で67百万円の増となりました。

支出の部は、人件費支出が36百万円の増、教育研究経費支出が62百万円の減、管理経費支出が13百万円の増となりました。投資関係では、施設関係支出は188百万円の減となりましたが、設備関係支出は20百万円の増となりました。また、借入金返済支出が130百万円の増となりました。

以上の結果、翌年度繰越支払資金は前年度より294百万円増加し2,619百万円となりました。

###### ○ 事業活動収支計算書

令和3(2021)年度は、事務管理システムの大規模更新や青凌中学校・高等学校の教員用ノートパソコンの更新、大阪体育大学の体育館等の空調設備の更新や陸上競技場の第3種更新改修工事などを実施しました。

また、減価償却累計額は691百万円増加しております。

以上の結果、令和4(2022)年3月期決算では、有形固定資産は343百万円減少しました。

現金預金は、本年度末2,609百万円で、前年度末2,325に比べて284百万円増加しています。増加要因として、補助金収入が67百万円増加したほか、支出面では教育研究費が62百万円、施設関係支出が188百万円減少したことによるものです。

##### 2. 貸借対照表の状況

令和3年度は、事務管理システムの大規模更新や青凌中学校・高等学校の教員用ノートパソコンの更新、大阪体育大学の体育館等の空調設備の更新や陸上競技場の第3種更新改修工事などを実施しました。

また、減価償却累計額は695百万円増加しております。

以上の結果、令和3年度決算では、有形固定資産は343百万円減少しました。

現金預金は、本年度末2,619百万円で、前年度末2,325に比べて294百万円増加しています。増加要因として、補助金収入が67百万円増加したほか、支出面では教育研究費が62百万円、施設関係支出が188百万円減少したことによるものです。

### 3. 経営状況の分析

学園全体の収益に関しては、事業活動収支計算書の経常収支差額が、過去5年間のうち最初の2年間はマイナスでありましたが、そのマイナス幅は徐々に縮小し、令和元(2019)年度になって漸くプラスに転じ、以降継続してプラスとしております。これは、少子高齢化の厳しい環境にもかかわらず、各設置校において堅実に入学・入園者数を確保してきたことが大きな要因です。また、支出においては、令和3(2021)年度はコロナ禍による影響で、スポーツ大会において大きな制限があったことなどにより、関連費用が減少していることもありますが、着実に削減を進めております。

財務バランスの面に関しては、大阪青凌中学校・高等学校が令和2(2020)年4月より大阪府高槻市から大阪市三島郡島本町に校地移転をするにあたり、日本私立学校振興・共済事業団から土地取得および校舎建設費用の借入を起し、自己資金も投入したことから、固定資産と固定負債が増加し、流動資産が減少しました。この影響により、財務分析比率は、「運用資産(現金預金+特定資産+有価証券) - 外部負債」がマイナスの状態が続いております。

余裕ある資金を継続的に獲得し、借入金の返済を進め財務バランスを改善するとともに、安定的に経常収支差額のプラスを続けるためには、学園一丸となって入学・入園者数を確保することが重要であるとと考えております。これを実現するために、より魅力的なコンテンツを提供し募集活動を強化するとともに、着実に業務の効率化を進め、経費の削減に取り組んでまいります。

### 4. 経営上の成果と課題

繰り返しになりますが、少子高齢化の厳しい経営環境下、着実に入学・入園者数を増やしてまいりましたものの、令和3(2021)年度においては減少に転じております。大阪青凌中学校・高等学校の校地移転による新入生獲得効果も徐々に減少していくものと考えられます。こういった環境下においても、令和元(2019)年度より継続的に経常収支差額の黒字を維持できており、学生・生徒・園児数の確保による収益の獲得に加え、業務の効率化などによる一定の成果があったと考えております。

今後の課題としましては、少子高齢化が進む中で、学生・生徒・園児数を増加させ、安定的に収益を確保すること、そのために各設置校がそれぞれの強みを発揮し魅力的なコンテンツを発信していく必要があると考えています。

### 5. 今後の方針・対応方策

令和4(2020)年3月に作成しました「浪商学園 経営の中期目標と計画 令和4(2022)年度 - 令和8(2026)年度」に則り、少子高齢化が進む環境下において、設置校が収容定員を確保し、安定的な収益基盤を構築したうえで、熊取キャンパスの大規模改修や、台風・地震等の自然災害に備えてまいります。

1-1. 令和3年度 資金収支計算書

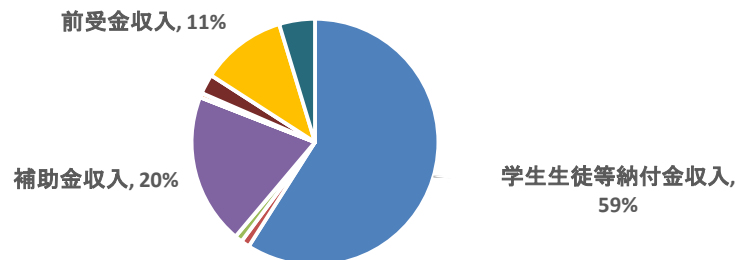
(単位:千円)

		予 算	決 算	差 異
収入の部	科 目			
	学生生徒等納付金収入	4,537,190	4,536,390	800
	手数料収入	82,870	86,953	△ 4,083
	寄付金収入	70,680	76,946	△ 6,266
	補助金収入	1,491,530	1,521,080	△ 29,550
	(国庫補助金収入)	473,380	509,526	△ 36,146
	(府県補助金収入)	1,018,150	1,011,553	6,597
	資産売却収入	1,590	1,781	△ 191
	付随事業・収益事業収入	45,010	43,159	1,851
	受取利息・配当金収入	860	876	△ 16
	雑収入	192,730	198,857	△ 6,127
	借入金等収入	0	0	0
	前受金収入	820,770	861,350	△ 40,580
	その他の収入	359,150	360,420	△ 1,270
	資金収入調整勘定	△ 1,003,080	△ 1,128,210	125,130
前年度繰越支払資金	2,325,060	2,325,066		
収入の部合計	8,924,360	8,884,665	39,695	
支出の部	科 目			
	人件費支出	3,732,020	3,721,223	10,797
	教育研究経費支出	1,401,860	1,268,581	133,279
	管理経費支出	403,530	385,228	18,302
	借入金等利息支出	14,220	14,219	1
	借入金等返済支出	329,890	329,890	0
	施設関係支出	179,571	179,107	464
	設備関係支出	361,500	320,645	40,855
	資産運用支出	0	0	0
	その他の支出	580,010	620,841	△ 40,831
	予備費	162,849		162,849
	資金支出調整勘定	△ 531,640	△ 574,136	42,496
	翌年度繰越支払資金	2,290,550	2,619,066	△ 328,516
	支出の部合計	8,924,360	8,884,665	39,695

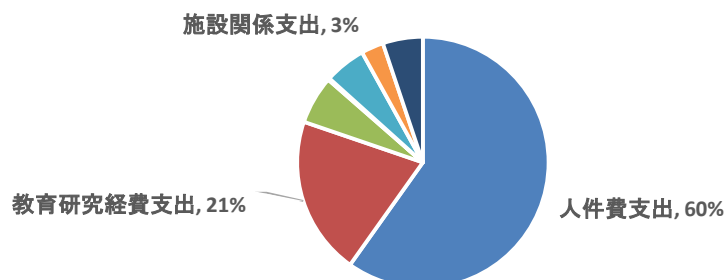
※ 単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります

※ ( )の科目は内数です

- 学生生徒等納付金収入
- 手数料収入
- 寄付金収入
- 補助金収入
- 資産売却収入
- 付随事業・収益事業収入
- 受取利息・配当金収入
- 雑収入
- 借入金等収入
- 前受金収入
- その他の収入



- 人件費支出
- 教育研究経費支出
- 管理経費支出
- 借入金等利息支出
- 借入金等返済支出
- 施設関係支出
- 設備関係支出



1-2. 令和3年度 事業活動収支計算書

(単位:千円)

		科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	4,537,190	4,536,390	800
		手数料	82,870	86,953	△ 4,083
		寄付金	71,740	79,330	△ 7,590
		経常費等補助金	1,421,210	1,450,751	△ 29,541
		付随事業収入	45,010	43,159	1,851
		雑収入	192,730	201,259	△ 8,529
		収入計	6,350,750	6,397,841	△ 47,091
	支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		人件費	3,719,542	3,715,364	4,178
		教育研究経費	2,190,490	2,057,275	133,215
		(減価償却額)	787,230	786,326	904
		管理経費	475,220	456,955	18,265
		(減価償却額)	71,690	71,710	△ 20
		徴収不能額等	2,935	2,815	120
支出計	6,388,187	6,232,410	155,777		
収支差額		△ 37,437	165,431	△ 202,868	
教育活動外収支	収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		受取利息・配当金	860	876	△ 16
		その他の教育活動外収入計	860	876	△ 16
	支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		借入金等利息	14,220	14,219	1
		教育活動外支出計	15,090	14,219	871
	収支差額		△ 13,360	△ 13,344	△ 16
経 常 収 支 差 額		△ 50,797	152,088	△ 202,885	
特別収支	収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	73,760	86,812	△ 13,052
	その他の教育活動特別収入計		73,760	86,994	△ 13,234
	支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産処分差額	6,499	6,325	174
		その他の特別支出	0	0	0
	教育活動外支出計		6,499	6,325	174
	収支差額		67,261	80,669	△ 13,408
	予備費		182,573	0	182,573
基本金組入前当年度収支差額		△ 166,110	232,756	△ 398,866	
基本金組入額合計		△ 893,130	△ 664,816	△ 228,314	
当年度収支差額		△ 1,059,240	△ 432,060	△ 627,180	
前年度繰越収支差額		△ 14,767,800	△ 14,767,799	△ 1	
翌年度繰越収支差額		△ 15,827,040	△ 15,199,858	△ 627,182	

(参考)

事業活動収入計	6,425,370	6,485,710	△ 60,340
事業活動支出計	6,408,907	6,252,954	155,953

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります

※ ( )の科目は内数です

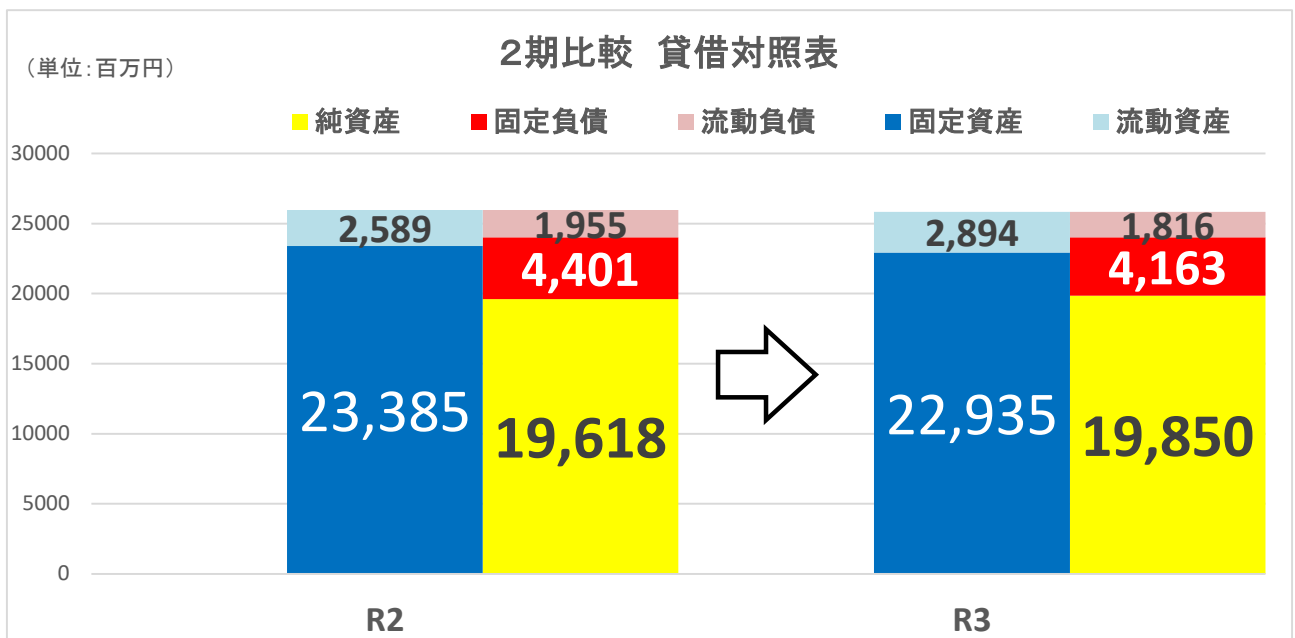
事業活動収支計算書は、企業会計における「損益計算書」に相当するものですが、利益を測定する目的ではなく、翌年度への繰越収支差額を明らかにするものです。学校法人の健全な運営に資するため、収入と支出の均衡だけでなく、資金の支出を伴わない引当金繰入額や減価償却費なども含めた事業活動収支の状況につ

1-3. 令和3年度末 貸借対照表

(単位：千円)

資産の部				
	科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
資 産	固定資産	22,935,163	23,384,688	△ 449,525
	有形固定資産	22,898,848	23,242,396	△ 343,548
	特定資産	0	99,732	△ 99,732
	その他の固定資産	36,315	42,560	△ 6,245
	流動資産	2,894,277	2,589,046	305,231
	資産の部合計		25,829,440	25,973,734
負債の部				
	科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
負 債	固定負債	4,163,328	4,401,676	△ 238,348
	流動負債	1,815,837	1,954,540	△ 138,703
	負債の部合計		5,979,166	6,356,216
純資産の部				
	科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
純 資 産	基本金	35,050,132	34,385,317	664,815
	(第1号基本金)	34,657,133	33,218,637	773,679
	(第4号基本金)	393,000	393,000	0
	繰越収支差額	△ 15,199,858	△ 14,767,799	△ 432,059
	翌年度繰越収支差額	△ 15,199,858	△ 14,767,799	△ 432,059
	純資産の部合計		19,850,274	19,617,518
負債及び純資産の部合計		25,829,440	25,973,734	△ 144,294

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります

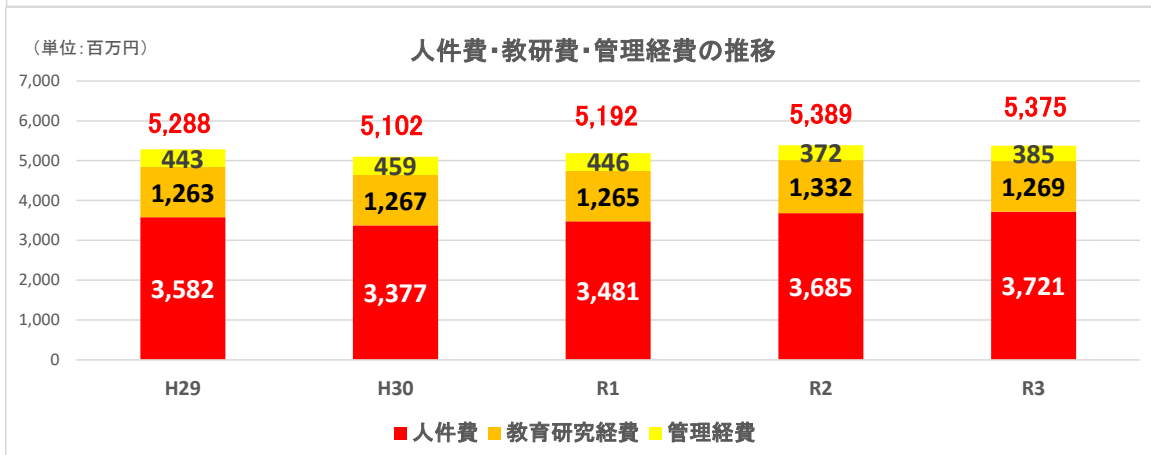
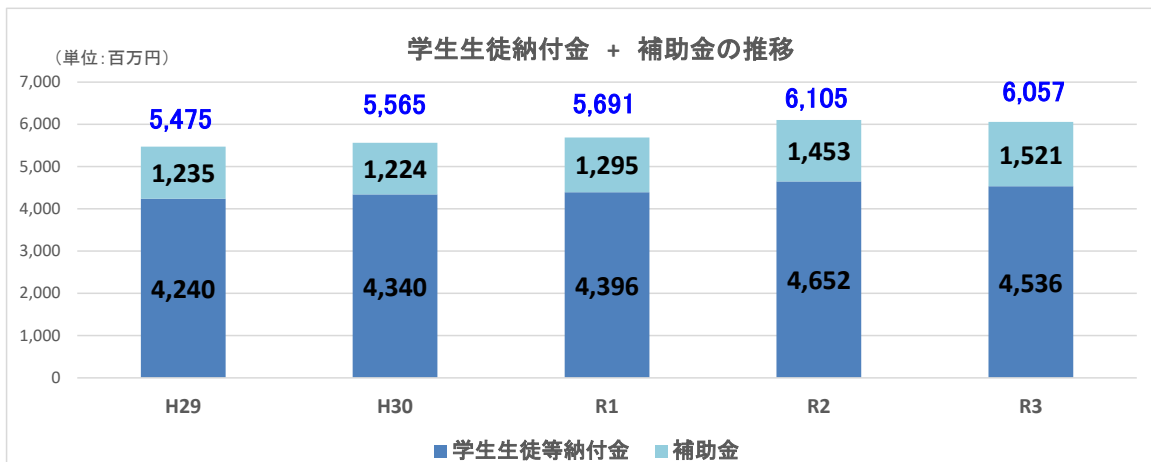


## 2-1. 資金収支の推移

(単位:千円)

		平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
収入の部	科 目					
	学生生徒等納付金	4,240,008	4,340,480	4,396,329	4,652,183	4,536,390
	手数料	109,991	105,067	99,848	83,343	86,953
	寄付金	33,240	30,752	39,845	87,635	76,946
	補助金	1,234,650	1,224,497	1,294,973	1,453,462	1,521,080
	資産売却	52,485	2,536	506,450	66	1,781
	付随事業・収益事業	41,837	71,736	50,396	29,868	43,159
	受取利息・配当金	12,081	12,076	16,548	2,727	876
	雑収入	229,019	87,666	198,652	185,765	198,857
	借入金等	2,000,000	2,045,000	555,000	0	0
	前受金	905,013	909,566	936,974	855,947	861,350
	その他の収入	203,713	179,886	216,770	285,710	360,420
	資金収入調整勘定	△ 1,181,209	△ 1,013,064	△ 990,231	1,201,442	△ 1,128,210
	前年度繰越支払資金	1,920,031	1,629,834	2,454,281	1,987,344	2,325,066
収入の部合計	9,800,859	9,626,031	9,775,836	8,422,606	8,884,665	
支出の部	科 目					
	人件費	3,582,464	3,376,898	3,481,403	3,684,582	3,721,223
	教育研究経費	1,262,812	1,266,513	1,264,892	1,331,529	1,268,581
	管理経費	443,114	458,639	446,261	371,536	385,228
	借入金等利息	2,932	5,058	15,864	15,086	14,219
	借入金等返済	125,000	150,000	650,000	199,000	329,890
	施設関係	2,542,612	1,445,539	1,512,669	368,095	179,107
	設備関係	274,234	288,607	306,848	299,822	320,645
	資産運用	0	0	0	0	0
	その他の支出	479,016	565,121	418,619	348,818	620,841
	資金支出調整勘定	△ 541,159	△ 384,626	△ 308,063	△ 520,929	△ 574,136
	翌年度繰越支払資金	1,629,834	2,454,281	1,987,344	2,325,066	2,619,066
	支出の部合計	9,800,859	9,626,031	9,775,836	8,422,606	8,884,665

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります





2-2. 事業活動収支の推移

(単位:千円)

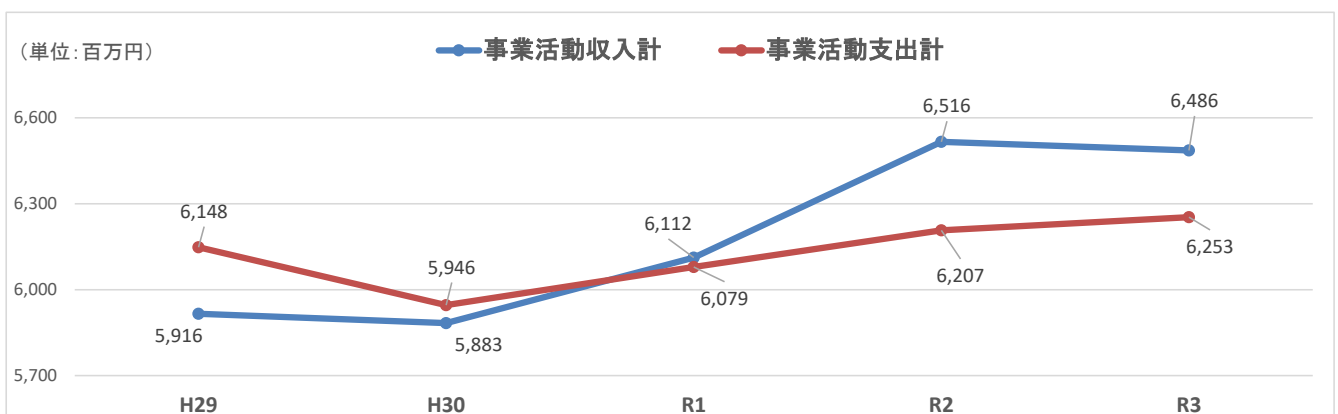
		科 目	平成29年度	平成30年度	令和元年	令和2年	令和3年
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	4,240,008	4,340,480	4,396,329	4,652,183	4,536,390
		手数料	109,991	105,067	99,848	83,343	86,953
		寄付金	32,710	31,739	38,875	89,113	79,330
		経常費等補助金	1,234,650	1,209,581	1,286,239	1,382,290	1,450,751
		付随事業収入	41,837	71,736	50,396	29,868	43,159
		雑収入	229,176	87,689	200,293	188,161	201,259
		収入計	5,888,372	5,846,292	6,071,980	6,424,958	6,397,841
	支出の部	人件費	3,620,179	3,396,838	3,513,766	3,602,610	3,715,364
		教育研究経費	1,967,825	1,969,553	2,007,325	2,129,156	2,057,275
		(減価償却額)	704,088	702,053	740,404	796,149	786,326
		管理経費	550,550	561,181	533,505	453,808	456,955
		(減価償却額)	107,437	102,542	87,244	82,272	71,710
		徴収不能額等	528	2,037	2,397	2,465	2,815
		支出計	6,139,084	5,929,610	6,056,992	6,188,038	6,232,410
収支差額			△ 250,711	△ 83,318	14,988	236,920	165,431
教育活動外収支	の収入	受取利息・配当金	12,081	12,076	16,548	2,727	876
		その他の教育活動外収入計	12,081	12,076	16,548	2,727	876
	の支出	借入金等利息	2,932	5,058	15,864	15,086	14,219
		教育活動外支出計	2,932	5,058	0	15,086	14,219
	収支差額			9,150	7,018	684	△ 12,360
経常収支差額			△ 241,562	△ 76,301	15,672	224,560	152,087
特別収支	の収入	資産売却差額	711	1,078	4,069	0	181
		その他の特別収入	14,489	23,762	19,166	88,521	86,812
		特別収入計	15,200	24,839	23,235	88,521	86,993
	の支出	資産処分差額	6,050	11,342	6,579	4,367	6,325
		その他の特別支出	0	0	0	0	0
		特別支出計	6,050	11,342	6,579	4,367	6,325
	収支差額			9,150	13,498	16,656	84,154
基本金組入前当年度収支差額			△ 232,412	△ 62,803	32,328	308,714	232,756
基本金組入額合計			△ 605,759	△ 425,170	△ 1,782,154	△ 776,679	△ 664,816
当年度収支差額			△ 838,170	△ 487,972	△ 1,749,826	△ 464,965	△ 432,060

(参考)

事業活動収入計	5,915,654	5,883,207	6,111,763	6,516,206	6,485,710
事業活動支出計	6,148,065	5,946,010	6,079,435	6,207,491	6,252,954

注 記 予備費 9,246,726円 の使用額は下記の通りである

- ※1 退職金 5,432,014円
- ※2 徴収不能引当金繰入額 1,915,350円
- ※3 車両処分差額 1,899,362円

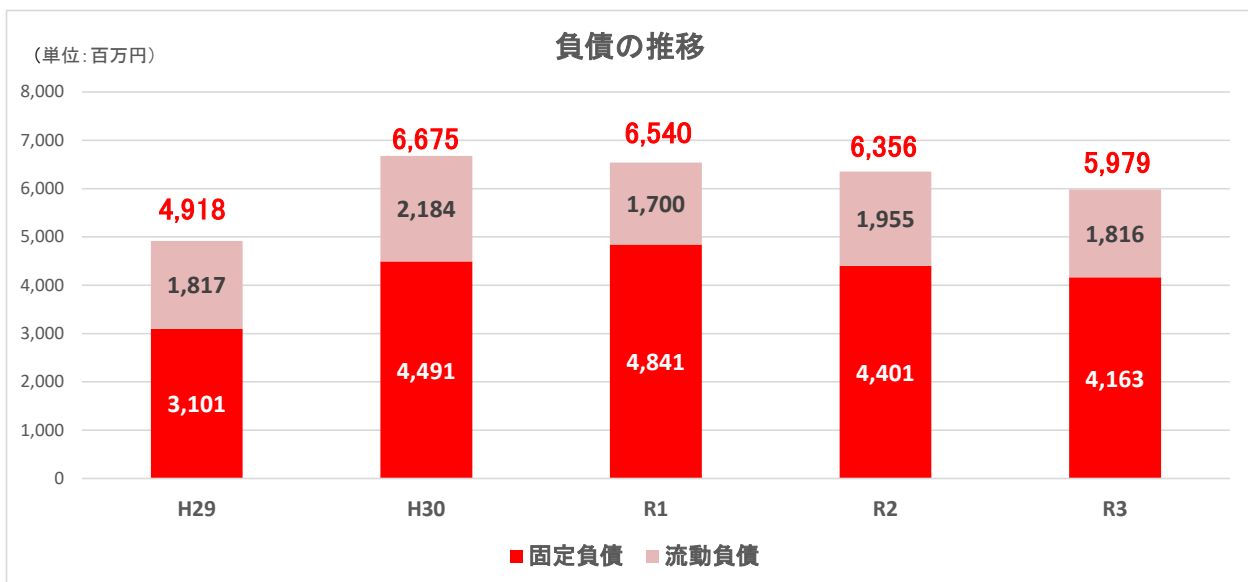
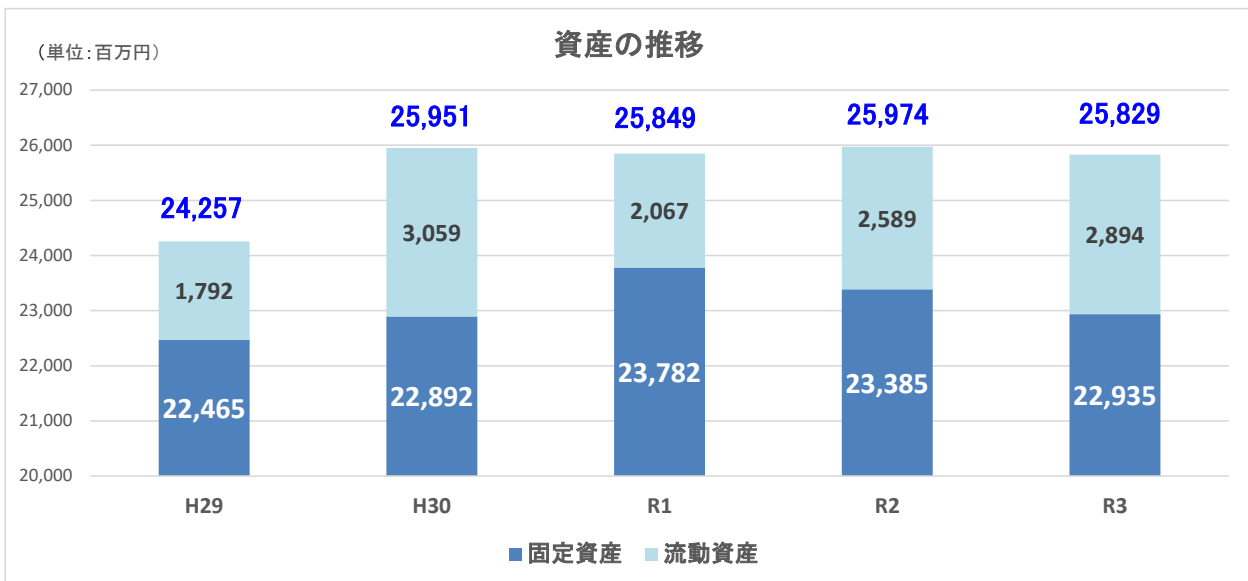


### 2-3. 貸借対照表の推移

(単位：千円)

科 目		平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末
資産	固定資産	22,465,237	22,892,054	23,782,125	23,384,688	22,935,163
	有形固定資産	21,502,002	22,447,614	23,423,127	23,242,396	22,898,848
	特定資産	398,133	398,133	299,572	99,732	0
	その他の固定資産	565,102	46,308	59,426	42,560	36,315
	流動資産	1,792,229	3,059,024	2,066,999	2,589,046	2,894,277
	資産の部合計	24,257,466	25,951,079	25,849,124	25,973,734	25,829,440
負債	固定負債	3,101,372	4,490,631	4,840,532	4,401,676	4,163,328
	流動負債	1,816,815	2,183,972	1,699,788	1,954,540	1,815,837
	負債の部合計	4,918,187	6,674,603	6,540,320	6,356,216	5,979,165
純資産	基本金	31,404,314	31,829,483	33,611,637	34,385,317	35,050,132
	繰越収支差額	△ 12,065,035	△ 12,553,008	△ 14,302,834	△ 14,767,799	△ 15,199,858
	純資産の部合計	19,339,278	19,276,476	19,308,804	19,617,518	19,850,274
	負債及び純資産の部合計	24,257,466	25,951,079	25,849,124	25,973,734	25,829,439

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります



3-1. 学生・生徒・園児数・入学者数・入園者数の推移

学生・生徒・園児数の推移

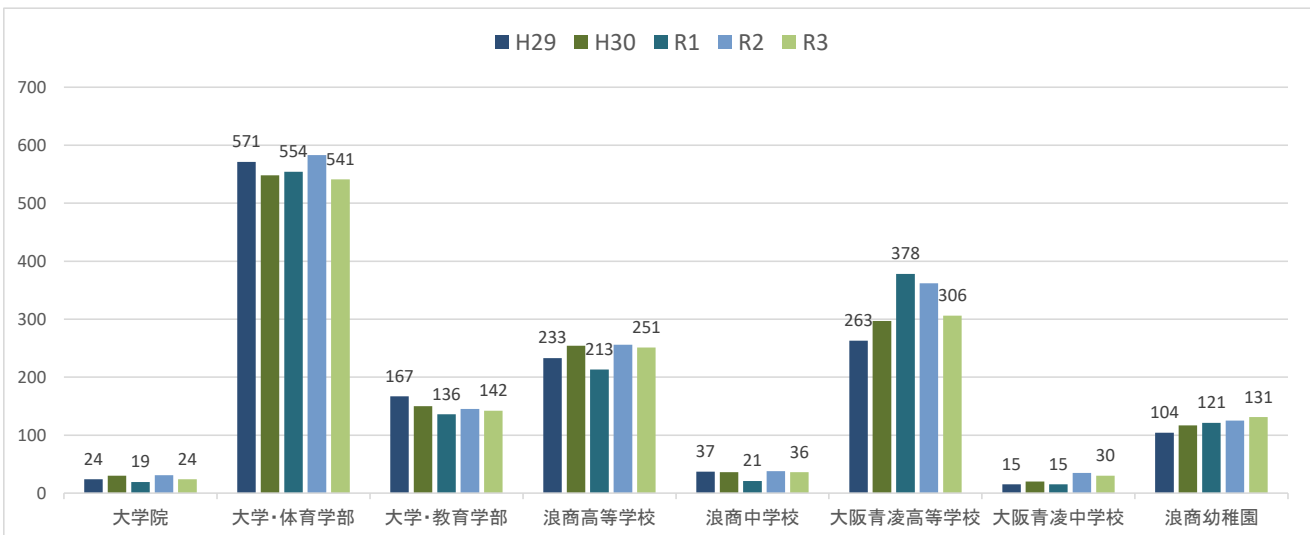
学校名			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
大阪体育大学	大学院	収容定員	66	66	66	66	66
		在学者数	66	71	66	60	66
	体育学部	収容定員	1,960	2,000	2,040	2,080	2,080
		在学者数	2,128	2,179	2,202	2,255	2,217
	健康福祉学部 (平成30年度募集停止)	収容定員	120				
		在学者数	137				
	教育学部	収容定員	375	500	500	500	500
		在学者数	428	573	593	602	577
浪商高等学校			収容定員	945	945	945	945
			在学者数	754	712	676	699
浪商中学校			収容定員	240	240	240	240
			在学者数	109	110	95	92
大阪青凌高等学校			収容定員	960	960	960	960
			在学者数	746	795	918	1,012
大阪青凌中学校			収容定員	240	240	240	240
			在学者数	57	53	50	73
浪商幼稚園			収容定員	350	360	360	360
			在学者数	303	321	326	356
合 計			4,728	4,814	4,926	5,152	5,096

※各年度5月1日現在の人数

入学者・入園者数の推移

学校名		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
大阪体育大学	大学院	24	30	19	31	24
	体育学部	571	548	554	583	541
	教育学部	167	150	136	145	142
浪商高等学校		233	254	213	256	251
浪商中学校		37	36	21	38	36
大阪青凌高等学校		263	297	378	362	306
大阪青凌中学校		15	20	15	35	30
浪商幼稚園		91	117	121	125	131
合 計		1,401	1,452	1,457	1,575	1,461

※各年度5月1日現在の人数



3-2. 教職員数の推移

教職員数の推移

			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
法人事務局	職員	本務	21	20	22	22	23
		兼務	4	5	3	2	2
大阪体育大学	教員	本務	107	101	100	100	98
		兼務	118	112	112	96	102
	職員	本務	96	99	93	106	106
		兼務	4	5	6	7	8
浪商高等学校	教員	本務	47	48	46	47	48
		兼務	14	14	12	14	14
	職員	本務	9	9	10	10	14
		兼務	11	13	10	9	7
浪商中学校	教員	本務	11	11	11	11	11
		兼務	7	7	5	4	3
大阪青凌高等学校	教員	本務	43	44	52	55	56
		兼務	24	26	25	26	26
	職員	本務	9	10	10	11	9
		兼務	3	3	2	2	2
大阪青凌中学校	教員	本務	7	7	9	10	9
		兼務	2	1	2	3	2
浪商幼稚園	教員	本務	22	23	24	26	23
		兼務	15	13	13	13	13
	職員	本務	2	1	1	1	1
		兼務	5	7	7	8	8
合計	教員	本務	237	234	242	249	245
		兼務	180	173	169	156	160
	職員	本務	137	139	136	150	153
		兼務	27	33	28	28	27

※各年度5月1日現在の人数

